

学則の変更（収容定員の変更）の趣旨等を記載した書類

目次

《医学群医学類》

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 学則変更（収容定員変更）の内容 | 3 |
| 2. 学則変更（収容定員変更）の必要性 | 3 |
| 3. 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容 | 4 |
| (1) 入学者選抜方法等 | 4 |
| (2) 教育課程の内容 | 5 |
| 4. その他 | 8 |

資料目次

| | | |
|-----|----------------|----|
| 資料1 | 筑波大学医学類卒業生出身高校 | 9 |
| 資料2 | 筑波大学医学類卒業生研修病院 | 10 |
| 資料3 | 二次医療圏別医師数 | 11 |
| 資料4 | 地域定着プログラムの概要 | 12 |
| 資料5 | 教育課程等の概要 | 13 |

《理工学群工学システム学類並びに情報学群情報科学類及び情報メディア創成》

| | |
|---------------------|----|
| 1. 学則変更（収容定員変更）の内容 | 16 |
| 2. 学則変更（収容定員変更）の必要性 | 16 |
| (1) 社会的要請 | 16 |

| | |
|-----------------------------------|----|
| (2) 筑波大学の取組..... | 17 |
| 3. 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容..... | 18 |
| (1) 教育課程、教育方法及び履修指導方法..... | 18 |
| (2) 教員組織..... | 20 |
| (3) 大学全体の施設・設備..... | 20 |

資料目次

| | |
|----------------------|----|
| 資料1 教育課程等の概要..... | 23 |
|----------------------|----|

《医学群医学類》

1. 学則変更（収容定員変更）の内容

筑波大学医学群医学類の平成 20 年度以降の入学定員については、平成 21 年度に「経済財政改革の基本方針 2008」に基づき 3 名の恒久定員増を、平成 21 年度に「緊急医師確保対策」に基づき平成 29 年度までの期限を付した 5 名の臨時定員増を、また、平成 22 年度から平成 28 年度までに、「経済財政改革の基本方針 2009」及び「新成長戦略」に基づき、平成 31 年度までの期限を付した 32 名の臨時定員増をそれぞれ実施した。平成 29 年度を期限とする 5 名の入学定員については、平成 31 年度までの期限を付した再度の入学定員増を行った。

これらにより、平成 31 年度までの期限を付した入学定員は 37 名（地域枠 36 名、研究医枠 1 名）となり、このうち地域枠に係る 36 名について、平成 30 年 6 月 15 日に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針 2018」に基づき、令和 2 年度に再度の定員増（2 年間）を、令和 4 年度～令和 6 年度に再度の定員増（毎年申請）を行った。

このたび、令和 7 年度の医学部臨時定員について暫定的に維持するとされたことを受け、令和 7 年度の臨時定員増（1 年間）を実施し、入学定員を再度の定員増を行わなかった場合の 98 名から 134 名に変更する。

これに併せて、収容定員についても令和 7 年度の臨時の入学定員増（1 年間）を踏まえ、再度の定員増を行わなかった場合の 613 名から 649 名に変更する。

2. 学則変更（収容定員変更）の必要性

「緊急医師確保対策」（平成 19 年 5 月 31 日）、同年 8 月 30 日の厚生労働省・総務省・文部科学省「地域医療に関する関係省庁連絡会議」における入学定員増の確認に伴い、本学と茨城県との間で互いに連携・協力し、茨城県内における医師の確保・定着を図る一方策として、平成 21 年度に入学定員を 5 名増員し地域枠を創設した。また同年、「経済財政改革の基本方針 2008」（平成 20 年 6 月 27 日閣議決定）を踏まえ、医師不足が深刻な地域や診療科の医師を確保し、医師養成課程の入学定員を「早急に過去最大程度まで増員」とする観点から、3 名の入学定員増を行った。さらに平成 22 年度に 2 名、平成 23 年度に 2 名、平成 24 年度に 2 名、平成 25 年度に 2 名、平成 26 年度に 9 名、平成 27 年度に 6 名、平成 28 年度に 8 名の入学定員増を行った。

茨城県では、離島は存在しないものの、厚生労働省による「令和 4 年医師・歯科医師・薬剤師統計」においても、「人口 10 万人あたりの医師数 212.3 人（全国平均 274.7 人）」と全国ワースト 2 位、「人口 10 万人あたりの医療施設従事医師数 202.0 人（全国平均 262.1 人）」など全国平均を下回っており、統計的にみても医師不足は明らかである。

本学における過去 15 年間の集計では、卒業生における茨城県内高校出身者の割合は 17.0%である一方で、県内就業率は 51.6%と半数を超える。（資料 1 及び資料 2 を参照）

また、筑波大学の卒業予定者のうち筑波大学附属病院のマッチング内定者は過去 15 年間で 30 名～45 名程度で推移しており、本学は茨城県における地域医療の充実に貢献してきた実績を有している。しかしながら、昨今の地域医療をめぐる環境は厳しさを増す一方であり、特に茨城県は前述の統計による人口 10 万人あたりの医師数は全国ワースト 2 位、二次医療圏別でも本学の所在するつくば医療圏を除けばすべての二次医療圏が全国平均以下であるなど、医師不足は深刻な問題となっている。二次医療圏別でみると県北の常陸太田・ひたちなか地区、県東の鹿行地区、県西の筑西・下妻地区医療圏において特に勤務医不足が著しい。（資料 3 を参照）

これらの状況に鑑み、当該地方自治体と協力し、地域医療について効果的に学ぶプログラムを充実させ、地域医療拠点病院を中心とした地域医療教育のさらなる充実を図り、地域医療に貢献できる医師養成を更に推進するため、本学医学群医学類の現在の地域枠入学定員 36 名を維持する必要がある。なお、令和 2 年度より本学医学群医学類の入学定員は 134 名及び 2 年次編入学定員は 5 名となっている。

3. 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容

（1）入学者選抜方法等

令和 7 年度筑波大学推薦入試及び個別学力検査（前期日程）において、医学群医学類地域枠に係る入学者選抜を実施する。

【推薦入試】

●募集人数 23 名（うち臨時定員分 23 名）

●出願要件

次の(1)～(5)の条件をすべて満たす者とする。

(1) 次の①、②のいずれかに該当する者

① 茨城県内の高等学校（中等教育学校、特別支援学校の高等部を含む。）を令和 7 年 3 月卒業見込みの者又は卒業後 1 年以内の者

② 保護者が出願期間の最終日において茨城県に 3 年以上居住している者で、県外の高等学校（中等教育学校、特別支援学校の高等部を含む。）を令和 7 年 3 月卒業見込みの者又は卒業後 1 年以内の者

(2) 将来、茨城県の地域医療に貢献する熱意と能力を有し、卒業後に茨城県が指定する医療機関等で指定された期間従事できる者で、学校長が責任をもって推薦できる者

(3) 学習成績概評が A 段階の者、又は筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者

(4) 全教科がバランスよく優れている上に、英語、数学及び理科（物理学、化学、生物学のうち 2 科目）の能力が抜群で、医師となる資質が十分と考えられる者

(5) 茨城県が実施する『令和 7 年度茨城県地域医療医師修学資金貸与制度』に応募する者

●選抜方法等

学校長の推薦に基づき、大学入学共通テスト及び個別学力検査を免除し、小論文及び適性試験を課し、その結果と学校長が作成した推薦書・調査書、茨城県が作成した調査書及び志望の動機を総合的に判定して、合格者を決定する。

① 小論文では英語（読解力・作文力）、数学及び理科（物理学、化学、生物学のうち 2 科目）の総合的学力を測定するとともに、論理的思考力、表現力を評価する。

② 適性試験(1)では、筆記試験により、適応力や学習意欲、人間性などを評価する。適性試験(2)では、個別面接により、医学を志向する動機、修学の継続力、適性、感性、社会的適応力など総合的な人間性について評価する。

【個別学力検査】

●募集人数 13 名（うち臨時定員分 13 名）

●出願要件

医学群医学類地域枠全国対象（5名）は、次の①及び②の要件を、茨城県内対象（8名）は、

①～③の要件を全て満たすもの

①将来、茨城県の地域医療に貢献する熱意と能力を有し、卒業後に茨城県知事が指定する医療機関で指定された期間従事できる者

②茨城県が実施する『令和7年度茨城県地域医療医師修学資金貸与制度』に応募した者

③次のア、イのいずれかに該当する者

ア茨城県内の高等学校（中等教育学校、特別支援学校の高等部を含む。）を卒業した者又は令和7年3月卒業見込みの者

イ保護者が出願期間の最終日において茨城県に3年以上居住している者で、県外の高等学校（中等教育学校、特別支援学校の高等部を含む。）を卒業したもの又は令和7年3月卒業見込みのもの

●一般枠と地域枠（全国・県内）の併願

出願時に一般枠、地域枠全国対象、地域枠茨城県内対象（3区分）の併願を受け付ける。

受験者は①～④の出願希望区分から一つを選択する。

| 出願希望区分 | 選抜区分 | | |
|-------------------|--------------------|---------------------------|-----------------------------|
| | 一般枠 (募集人員 44 名) | 地域枠 全国対象 (募集人員 5 名) | 地域枠 茨城県内対象 (募集人員 8 名) |
| ①一般枠(単願) | 単願 | — | — |
| ②一般枠優先(地域枠全国対象併願) | 第一志望 | 第二志望 | — |
| ③地域枠全国対象優先(一般枠併願) | 第二志望 | 第一志望 | — |
| ④地域枠茨城県内対象 | — | 第二志望 | 第一志望 |

※出願希望区分②～④で出願する場合は、それぞれの地域枠の出願要件を満たす必要がある。

※出願希望区分②～④の併願は、第一志望を優先して選抜し、第一志望で合格とならなかった場合に第二志望の選抜の対象とする。

※入学後に「一般枠」「地域枠」の変更はできない。

●選抜方法等

広い基礎学力に加えて、数学、理科、英語の学力を評価するとともに、医学を志向する動機、修学の継続性、適性、感性、社会的適応力など、総合的な人間性について評価する。

上記に加え、将来茨城県の医療を担う強い意志を有する人材を、総合的に評価する。

(2) 教育課程の内容

本学医学群医学類では、従来から地域医療の実際について学ぶカリキュラムを実施してきたところであるが、社会のニーズに応えるとともに、喫緊の課題である地域医療を担う人材の養成を加速するために、「地域定着プログラム」を導入した。これは、これまでの地域医療教育を「人材養成」という立場からさらに充実・強化するとともに、実際の地域で学習する機会を大幅に増やした教育プログラムである。本プログラムの導入により、学生は地域医療の魅力と

実践に必要な臨床能力を修得するとともに、地域医療の現場で活躍する医師のロールモデルに出会い、そのキャリアデザインを明確にイメージできるようになることで、将来地域医療をライフワークとする人材が数多く養成されることが期待できる。（資料4を参照）

I. 医療・福祉現場でのふれあい等（1年次）（平成8年より実施）

・目的

入学直後のモチベーションの高い時期に、地域医療の実際を知り、興味を高める。

・概要

春学期の終わりの時期に、以下を実施する。

地域保健福祉実習：茨城県内の保健福祉施設（訪問看護ステーション、特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、グループホーム）で、数人のグループで、2日間の実習を行う。地域の現場において、介護福祉士など様々な医療関係職種の仕事を経験し、その役割を学ぶ。

II. 医療概論Ⅱ 「在宅ケア」（2年次）（平成18年度より実施）

・目的

地域の在宅ケアを受ける患者の具体的なケア計画を立て、在宅ケアの現場で患者をサポートする様々な職種の役割を学ぶ。

・概要

(1) PBL テュートリアルと講義：在宅ケアを受けながら療養生活をおくる実際の患者さんを題材にしたシナリオを用いて、患者の思いを想像しながら、7～8人の小グループで討論を行う。地域医療の現場でも実際に診療を担当している教員が共同で企画実施にあたる。

(2) 診療所実習：数人のグループで、半日間診療所を訪問し、診療所における診療、待合室、リハビリ、訪問診療、デイケアセンターなどにおいて見学・参加する。（平成29年度より1年次から2年次に変更して実施）

III. 医療概論Ⅱ 「職種間連携」（2年次）（平成26年度より実施）

・目的

保健医療福祉分野に関わる各職種が連携して全人的な患者のケアを実践する重要性を理解し、チームの一員として貢献することができる。

・概要

保健医療福祉分野の専門職にとって、専門の異なる職種同士で連携・協働する力は必須である。こうした専門職連携はインタープロフェッショナルワーク（Interprofessional work：IPW）と呼ばれる。インタープロフェッショナルは、「二つ（人）以上の、～の間、相互に」という意味の‘インター’と、「専門家、職業人」という意味の‘プロフェッショナル’という二つの言葉の合成語であり、IPWは、複数の専門職が相互作用しあうプロセスを重視している。本演習では、将来、専門職連携IPWを実践できる医療人となるために、職種の異なる学生同士のグループワークを通して、職種の役割、視点を理解し、連携について学ぶ。

IV. 医療概論Ⅲ 「地域ヘルス・プロモーション／行動科学」(3年次) (平成18年度より実施)

・目的

地域の現場で「ひとびとの健康を守る」役割を効果的に学ぶため、地域・学校で開催される健康教室を自ら実際に企画・実施し、地域の特性を十分に考慮した予防医学・健康教育の重要性を知り、それを地域で効果的に実践するための技能を身につける。

・概要

(1) ヘルス・プロモーション基礎コース : 3年生までに修得した基本的医学知識に加え、予防・健康教育を実践するために必要な知識、技能を修得する。また、地域コーディネーターによる地域健康教育活動の実際などについて学習する。

(2) 地域健康教室実習 : 地域コーディネーターの指導のもとで学生自ら健康教育を企画し、実際に地域に赴き、健康教育を実践する。減量指導、生活習慣病予防のための栄養・運動指導、禁煙指導、喫煙防止教育、介護予防、食育の5テーマに分かれて行っている。
*本コースで学んだことの実践編として、高学年になってから医療概論Ⅴ(診療所実習)の中で、実際の地域において(2)同様の健康教育を実践する。

V. 医療概論Ⅲ 「ケア・コロキウム」(3年次) (平成18年度より実施)

・目的

医療保健福祉各専門職種を理解を深め、チームワークおよび当事者の力を引き出すエンパワメントの意義を理解し、互いに連携しながらケアの方針をたてる過程を体験する。

・概要

医学群の3学類(医学・看護・医療科学)と東京理科大学薬学部の学生で構成された小グループ討論(チュートリアル)を行う。地域医療における実際の事例を用いて、専門領域の異なるメンバー間で、疾病や障害がある人とその家族に対する質の高いケアの在り方について討論する。

VI. 「M5 クリニカル・クラークシップ」、「M6 クリニカル・クラークシップ」(地域CC) (5年次～6年次) (平成21年度より実施、平成29年度より改定して実施)

・目的

地域の医療機関において、大学病院とは異なるセッティングにおける医療ニーズを知り、地域で働く医師の役割、スキルを身につけて、ライフワークとして地域医療を実践するキャリアパスを選択する機会を提供する。

・概要

院外実習として県内の市中病院を中心に4週間の実習を行っている。

VII. 医療概論Ⅴ(6年次) (平成16年度より実施、平成31年度より改定して実施)

・目的

実際の地域医療の現場に触れ、地域医療の視点を学び、その魅力を体感するとともに、ロールモデルに出会い、ライフワークとして地域医療を実践するキャリアパスを選択する機会を提供する。

・概要

- (1) 診療所実習：いばらき地域医療研修ステーションに指定された診療所を含む県内の 15 医療機関において、地域の特性に根ざしたケア、介護サービスとの連携、保健予防活動などの community-based care を効果的に学ぶ。
- (2) モデル地区における地域医療実習：平成 21 年度から地域医療教育拠点病院（神栖済生会病院）を拠点として全員が地域医療の実際を効率的に学ぶことができるカリキュラムを導入し、地域フィールドワーク、住民体験実習、診療所実習、健康教育実習などを実施している。

4. その他

医師数の増加が茨城県内における医師の確保・定着を増進する方向となるように、地域医療従事者養成教育の開発・実施、卒前・卒後における臨床実習施設の拡充、地域医療機関から医師の派遣要請への対応、女性医師離職防止・復職支援などに関し、更なる体制の整備・充実を推進する。

筑波大学医学類卒業生 出身高校（平成21年度～令和5年度 卒業生）

《県内》

| 高校名 | 平成21年度卒 | 平成22年度卒 | 平成23年度卒 | 平成24年度卒 | 平成25年度卒 | 平成26年度卒 | 平成27年度卒 | 平成28年度卒 | 平成29年度卒 | 平成30年度卒 | 平成31年度卒 | 令和2年度卒 | 令和3年度卒 | 令和4年度卒 | 令和5年度卒 | 累計 |
|-------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|--------|--------|--------|--------|-----|
| 江戸川学園取手高等学校 | 3 | 4 | 3 | 8 | 2 | 5 | 4 | 5 | 5 | 4 | 5 | 8 | 4 | 6 | 7 | 73 |
| 清真学園高等学校 | 1 | | 1 | 1 | | 1 | | | | 3 | 4 | | | | | 11 |
| 県立竹園高等学校 | 1 | | 1 | | | | 1 | | 2 | 2 | 2 | 2 | 1 | 4 | 3 | 19 |
| 県立土浦第一高等学校 | 3 | 6 | 3 | 2 | 4 | 6 | 2 | 4 | 2 | 3 | 4 | 8 | 8 | 5 | 4 | 64 |
| 県立日立第一高等学校 | 1 | | | 1 | | | | | | 1 | | | | | 2 | 5 |
| 県立水戸第一高等学校 | | 2 | 2 | 1 | 3 | 2 | 1 | 2 | 5 | 4 | 6 | 4 | 4 | 4 | 3 | 43 |
| 県立水戸第二高等学校 | | | | | | | | | 1 | | | | 1 | | | 2 |
| 県立竜ヶ崎第一高等学校 | | | | | | | | | | | | | | | | 0 |
| 県立鉾田第一高等学校 | | | | | | | | | | | | | | | | 0 |
| 県立下館第一高等学校 | | | | | | | | 1 | | | | | | | | 1 |
| 県立下妻第一高等学校 | | | | | | | | | 1 | | | | 1 | 1 | | 3 |
| 茗溪学園高等学校 | 2 | 1 | 2 | | | 2 | 1 | | 4 | 1 | 4 | | 1 | 3 | | 21 |
| 茨城高等学校 | | 2 | 1 | 1 | 2 | 1 | 3 | 2 | | 2 | 1 | | | 2 | | 17 |
| 土浦日本大学高等学校 | 1 | | | | 1 | | | 1 | | | | | 1 | 1 | | 5 |
| 常総学院高等学校 | | 1 | | | | | | 1 | | | | 1 | | 1 | 1 | 5 |
| 水戸葵陵高等学校 | | | 1 | 1 | | | 1 | | | | | | | 1 | | 4 |
| 水城高等学校 | | | | 1 | 1 | | | 1 | | | | 1 | | 2 | 1 | 7 |
| 牛久栄進 | | | | | | 1 | | | | | | | | | 2 | 3 |
| 県立並木中等教育学校 | | | | | | | | | | | | 3 | 2 | | 3 | 8 |
| 計 | 12 | 16 | 14 | 16 | 13 | 18 | 13 | 17 | 20 | 20 | 26 | 27 | 23 | 30 | 26 | 291 |

《県外》

| 高校所在県名 | 平成21年度卒 | 平成22年度卒 | 平成23年度卒 | 平成24年度卒 | 平成25年度卒 | 平成26年度卒 | 平成27年度卒 | 平成28年度卒 | 平成29年度卒 | 平成30年度卒 | 平成31年度卒 | 令和2年度卒 | 令和3年度卒 | 令和4年度卒 | 令和5年度卒 | 累計 |
|------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|--------|--------|--------|--------|------|
| 北海道 | 1 | 3 | 1 | 1 | | 2 | 1 | 2 | | | | 2 | 3 | | | 16 |
| 青森県 | 1 | | | | | | 1 | 1 | | | | | | 1 | 1 | 5 |
| 岩手県 | 1 | | 1 | | 1 | 1 | 1 | 1 | | 3 | | | | | | 9 |
| 山形県 | 1 | 1 | | | | | | 1 | | | | | | | | 3 |
| 宮城県 | 1 | 1 | 1 | 1 | | | 1 | 2 | | 1 | | | 2 | | | 10 |
| 秋田県 | 1 | 2 | | | | | | | | | | | | | 2 | 5 |
| 福島県 | | 3 | | 1 | 1 | | | 1 | | | | | | 1 | | 7 |
| 栃木県 | 2 | 5 | 3 | 2 | | 1 | 1 | 6 | 1 | | 3 | 2 | 2 | 2 | 3 | 33 |
| 群馬県 | 2 | 2 | | 3 | 1 | 3 | | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 | | 2 | | 19 |
| 埼玉県 | 4 | 3 | 2 | 1 | 5 | 5 | 4 | 4 | 5 | 8 | 3 | 10 | 10 | 7 | 7 | 78 |
| 千葉県 | 2 | 4 | 3 | 7 | 2 | 7 | 1 | 6 | 6 | 10 | 10 | 9 | 16 | 10 | 11 | 104 |
| 東京都 | 31 | 37 | 39 | 35 | 37 | 37 | 54 | 38 | 46 | 43 | 42 | 47 | 53 | 43 | 60 | 642 |
| 神奈川県 | 5 | 7 | 9 | 9 | 7 | 10 | 18 | 7 | 15 | 9 | 11 | 12 | 13 | 15 | 10 | 157 |
| 山梨県 | 1 | | 1 | | 1 | | | 1 | | 1 | 1 | | 2 | | | 8 |
| 長野県 | 4 | 2 | 1 | 1 | 1 | | 2 | 1 | | | | | | 1 | | 13 |
| 新潟県 | | | | 1 | | | | | | | 1 | | 2 | | | 4 |
| 富山県 | | 1 | 1 | 1 | 2 | | 1 | 1 | 2 | 1 | | | 1 | | | 11 |
| 石川県 | 1 | | | | | 1 | 1 | 1 | | | | | | | | 4 |
| 福井県 | | | | | 1 | | 1 | | | | | 1 | | | | 3 |
| 岐阜県 | | | | 1 | | | | | | 2 | | 1 | | | 1 | 5 |
| 静岡県 | 2 | 2 | 1 | 3 | | 1 | 5 | | | | | 1 | 2 | 1 | 2 | 20 |
| 愛知県 | 3 | | 3 | 5 | 5 | 5 | 1 | 1 | 3 | 6 | 4 | 2 | 3 | 5 | 2 | 48 |
| 三重県 | | 1 | 1 | | 1 | | 1 | 1 | 1 | | 1 | 1 | | 1 | | 9 |
| 滋賀県 | | | | | | | | | | | 1 | | | | | 1 |
| 京都府 | 3 | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | | 1 | | | | 1 | | 1 | 13 |
| 大阪府 | 2 | 3 | 1 | 1 | 1 | | | 2 | | 1 | 3 | 2 | | 3 | 3 | 22 |
| 兵庫県 | 1 | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 | | 1 | 2 | | | 2 | | 1 | | 13 |
| 奈良県 | 1 | 1 | 1 | 3 | 2 | 1 | 1 | 1 | | | | | | 1 | 1 | 13 |
| 和歌山県 | | | 1 | | 1 | 1 | | | | | | | | | | 3 |
| 鳥取県 | 1 | | 1 | | | | | | | | | | | | | 2 |
| 島根県 | | | | | | | | | | | | | 1 | | | 1 |
| 広島県 | | 1 | 1 | 1 | 1 | 3 | | 2 | 1 | | 3 | 2 | 1 | | | 16 |
| 岡山県 | 1 | 1 | | 3 | | | | | 1 | | | | 1 | | | 7 |
| 山口県 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 徳島県 | | | | | 1 | | | | | | | 1 | | | | 2 |
| 香川県 | | 1 | | | 1 | 1 | | | | | | | | | | 3 |
| 愛媛県 | | | | | | | 1 | 1 | | | | 1 | | 3 | 1 | 7 |
| 高知県 | | 1 | | | | | 1 | 1 | | 1 | | | 1 | | | 4 |
| 福岡県 | 1 | 1 | | | 2 | 2 | | 1 | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 15 |
| 佐賀県 | | 2 | 1 | | | | | | | | | | | 1 | | 4 |
| 長崎県 | 1 | 2 | 1 | | | 1 | | 1 | 2 | | | | | | 1 | 9 |
| 熊本県 | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 |
| 大分県 | | | | | 1 | | | | | | | | | | | 1 |
| 宮崎県 | 1 | | 1 | | | 2 | | 1 | 1 | | | | | 1 | | 7 |
| 鹿児島県 | 1 | | 1 | 3 | 1 | 1 | 1 | 2 | 1 | | 3 | 3 | 4 | | 1 | 22 |
| 沖縄県 | | 3 | 1 | 1 | 1 | | 1 | 1 | 1 | | 1 | 1 | 1 | 1 | | 13 |
| 海外 | 1 | | 1 | 1 | 1 | | 1 | 1 | 1 | | | | 2 | 4 | 1 | 13 |
| その他(認定試験等) | | | | 1 | | | | | 7 | 6 | | | | | | 14 |
| 計 | 78 | 94 | 80 | 88 | 80 | 87 | 101 | 90 | 100 | 94 | 89 | 102 | 122 | 105 | 110 | 1420 |
| 卒業生合計 | 90 | 110 | 94 | 104 | 93 | 105 | 114 | 107 | 120 | 114 | 115 | 129 | 145 | 135 | 136 | 1711 |

| | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 県内卒業率(%) | 13.3% | 14.5% | 14.9% | 15.4% | 14.0% | 17.1% | 11.4% | 15.9% | 16.7% | 17.5% | 22.6% | 20.9% | 15.9% | 22.2% | 19.1% | 17.0% |
|----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|

筑波大学医学類卒業生 研修病院（平成20年度～令和5年度 ※卒業生）

※本表における卒業生は、卒業生のうち研修医就業者を示す。

《県内》

| 研修病院名 | 平成21年度卒 | 平成22年度卒 | 平成23年度卒 | 平成24年度卒 | 平成25年度卒 | 平成26年度卒 | 平成27年度卒 | 平成28年度卒 | 平成29年度卒 | 平成30年度卒 | 平成31年度卒 | 令和2年度卒 | 令和3年度卒 | 令和4年度卒 | 令和5年度卒 | 累計 |
|-----------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|--------|--------|--------|--------|-----|
| 筑波大学附属病院 | 32 | 42 | 35 | 45 | 40 | 47 | 31 | 36 | 34 | 34 | 24 | 31 | 20 | 25 | 29 | 505 |
| 筑波メディカルセンター病院 | 3 | 3 | 3 | 3 | 5 | 1 | 3 | 4 | 5 | 3 | 1 | 2 | 3 | 2 | 1 | 42 |
| 筑波学園病院 | | | | | | | | 1 | 1 | | | | | | | 2 |
| 筑波記念病院 | | | | | 1 | 1 | | 1 | | | 2 | 1 | | | 1 | 7 |
| 土浦協同病院 | 3 | 1 | | 3 | | 3 | 1 | 3 | 1 | 3 | 6 | 3 | 5 | 2 | 5 | 39 |
| JAとりで総合医療センター | 1 | 1 | | 1 | | | | | | | 3 | 1 | 1 | 2 | 2 | 12 |
| 茨城西南医療センター | 1 | | 1 | | | | 1 | | 2 | 3 | 2 | 4 | 7 | 5 | 5 | 31 |
| 日製日立総合病院 | | | | | 4 | 1 | 2 | 2 | 4 | 7 | 7 | 9 | 9 | 2 | 3 | 50 |
| 日製ひたちなか総合病院 | | | 3 | 4 | 4 | 2 | 4 | 1 | 4 | 1 | 5 | 5 | 3 | 4 | 4 | 44 |
| 水戸協同病院 | | 1 | 2 | 2 | | 4 | 2 | 3 | 2 | 3 | 4 | 2 | 4 | 1 | | 30 |
| 県立中央病院 | | | 1 | 2 | 1 | | 2 | 2 | 1 | 1 | 5 | 1 | 7 | 5 | 2 | 30 |
| 国立病院機構 水戸医療センター | | | 1 | 1 | | | 1 | 1 | 1 | 2 | | 1 | 4 | | 3 | 15 |
| 水戸済生会総合病院 | | | | | | | | 2 | 3 | 4 | 1 | 3 | 3 | 6 | | 22 |
| 牛久愛和総合病院 | | | | | | | | | 2 | | | 3 | 3 | 1 | 4 | 13 |
| 水戸赤十字病院 | | | | | | | | | | | 1 | 1 | | | | 2 |
| 総合守谷第一病院 | | | | | | | | | | | 1 | 2 | | | | 3 |
| 友愛記念病院 | | | | | | | | | | | | 1 | | | 1 | 2 |
| 東京医科大学茨城医療センター | | | | | | | | | | | | | 2 | | | 2 |
| つくばセントラル病院 | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | | 2 |
| 取手協同病院 | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | | 2 |
| その他 | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 |
| 計 | 40 | 48 | 46 | 61 | 55 | 59 | 47 | 56 | 60 | 61 | 62 | 69 | 70 | 61 | 61 | 856 |

《県外》

| 研修病院名 | 平成21年度卒 | 平成22年度卒 | 平成23年度卒 | 平成24年度卒 | 平成25年度卒 | 平成26年度卒 | 平成27年度卒 | 平成28年度卒 | 平成29年度卒 | 平成30年度卒 | 平成31年度卒 | 令和2年度卒 | 令和3年度卒 | 令和4年度卒 | 令和5年度卒 | 累計 |
|-------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|--------|--------|--------|--------|------|
| 北海道 | | 1 | 1 | 1 | | | | 3 | | | 1 | | 1 | | | 8 |
| 青森県 | 1 | | 1 | 1 | 1 | | | 1 | | | | | | | | 5 |
| 岩手県 | | | 1 | 1 | | 1 | 1 | 1 | | | | | | | | 5 |
| 秋田県 | | | | | | | | | | | | | | | | 0 |
| 山形県 | | | | | | | | | | | | | | | | 0 |
| 宮城県 | 1 | | | | 1 | 1 | 1 | 2 | | 2 | | | 1 | 1 | | 10 |
| 福島県 | | 1 | 1 | | | | | | 2 | | 1 | | | | | 5 |
| 栃木県 | 1 | 1 | 1 | 1 | | | 1 | 3 | 2 | 1 | | | 4 | | | 15 |
| 群馬県 | 1 | | | | | 1 | 1 | | | | 1 | 1 | | 1 | | 6 |
| 埼玉県 | 3 | 2 | 2 | 1 | 1 | 3 | 3 | 3 | 3 | 4 | 6 | 11 | 8 | 11 | 10 | 71 |
| 千葉県 | 2 | 1 | 6 | 2 | 4 | 4 | 5 | 3 | 7 | 5 | 8 | 11 | 15 | 11 | 5 | 89 |
| 東京都 | 20 | 24 | 15 | 14 | 22 | 19 | 33 | 22 | 26 | 24 | 25 | 29 | 24 | 27 | 39 | 363 |
| 神奈川県 | 5 | 6 | 2 | 9 | 3 | 1 | 8 | 5 | 4 | 6 | 6 | 4 | 9 | 8 | 12 | 88 |
| 新潟県 | | | | | | | | | 1 | | | | | | | 1 |
| 石川県 | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | | 2 |
| 富山県 | | | | | | | | | 1 | | | | 1 | | | 2 |
| 福井県 | | | | | | | | | | 1 | | | | | | 1 |
| 山梨県 | | | | | | | 1 | | | | | | | | | 1 |
| 長野県 | 4 | 4 | 2 | | | 1 | 2 | 2 | | | | | 1 | | | 16 |
| 岐阜県 | | | | | 1 | | 1 | | | 1 | | 1 | 2 | 1 | 1 | 8 |
| 静岡県 | 1 | | 2 | 1 | | 1 | 1 | | 1 | 1 | 1 | | | 1 | 1 | 11 |
| 愛知県 | | 2 | 1 | 2 | | 1 | 1 | | 1 | 3 | | 1 | 2 | 1 | 1 | 16 |
| 三重県 | | | | | | | | | | | | | | | | 0 |
| 京都府 | 3 | 3 | 5 | 1 | | 2 | 1 | 1 | | | | 3 | | | | 19 |
| 大阪府 | 1 | 2 | 2 | 2 | 1 | | | 1 | | | | | 1 | 1 | | 11 |
| 兵庫県 | 1 | | 1 | | 1 | | | 1 | | | | | 1 | 1 | 1 | 7 |
| 奈良県 | | | | | | 1 | | | | | | | | | | 1 |
| 和歌山県 | | 1 | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 岡山県 | | 2 | | | | | | | | | | | | | | 2 |
| 広島県 | | 1 | | | | 1 | | | 1 | | 1 | 1 | | | | 5 |
| 山口県 | 1 | | | | 1 | | | | | | | | 1 | | | 3 |
| 徳島県 | | | | | | | | | | | | | | | | 0 |
| 愛媛県 | | | | | | | | | | | | 1 | | 1 | | 2 |
| 高知県 | | | 1 | | | | | | | | | | 1 | 1 | | 3 |
| 福岡県 | 1 | 1 | | | | | 1 | 1 | 1 | | | 1 | | | | 6 |
| 佐賀県 | | | | | | | | | | | 1 | | | | | 1 |
| 長崎県 | | | | 1 | | 1 | | | | | | | | | | 2 |
| 熊本県 | | | | | | | | | | | | | | | | 0 |
| 鹿児島県 | | | | | | | | | | | | | | | | 0 |
| 沖縄県 | | 5 | 1 | | 1 | 2 | | | 2 | 2 | | 1 | 1 | 2 | 1 | 18 |
| その他 | | | | | | | | | | | | | | | | 0 |
| 計 | 46 | 57 | 45 | 37 | 37 | 41 | 60 | 49 | 52 | 50 | 51 | 66 | 74 | 69 | 70 | 804 |
| 卒業生合計 | 86 | 105 | 91 | 98 | 92 | 100 | 107 | 105 | 112 | 111 | 113 | 135 | 144 | 130 | 131 | 1660 |

| 県内就職率(%) | 46.5% | 45.7% | 50.5% | 62.2% | 59.8% | 59.0% | 43.9% | 53.3% | 53.6% | 55.0% | 54.9% | 51.1% | 48.6% | 46.9% | 46.6% | 51.6% |
|----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
|----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|

4 二次保健医療圏別医師数（従業地）

| 二次保健医療圏 | 医師数（人） | | | | | | | | | |
|------------|---------------|---------|-------|--------|--------|-------|-------|--------|---------------|--------|
| | 届出医師数 | | | | 人口10万対 | | | | R4 | |
| | R4(構成比) | R2 | 増減 | 増減率 | R4 | R2 | 増減 | 増減率 | 医療施設 従事医師数 | 人口10万対 |
| 水戸 | 1,202 | 1,221 | ▲ 19 | ▲ 1.6% | 265.6 | 266.6 | ▲ 1.0 | ▲ 0.4% | 1,163 | 257.0 |
| 日立 | 412 | 431 | ▲ 19 | ▲ 4.4% | 174.4 | 176.6 | ▲ 2.3 | ▲ 1.3% | 384 | 162.5 |
| 常陸太田・ひたちなか | 437 | 423 | 14 | 3.3% | 126.5 | 120.3 | 6.2 | 5.1% | 415 | 120.1 |
| 鹿行 | 277 | 251 | 26 | 10.4% | 105.1 | 93.6 | 11.5 | 12.3% | 262 | 99.4 |
| 土浦 | 597 | 559 | 38 | 6.8% | 236.4 | 219.0 | 17.3 | 7.9% | 575 | 227.6 |
| つくば | 1,554 | 1,437 | 117 | 8.1% | 427.8 | 407.8 | 19.9 | 4.9% | 1,461 | 402.2 |
| 取手・竜ヶ崎 | 879 | 857 | 22 | 2.6% | 192.3 | 186.4 | 5.9 | 3.2% | 835 | 182.7 |
| 筑西・下妻 | 317 | 309 | 8 | 2.6% | 127.4 | 121.6 | 5.8 | 4.7% | 302 | 121.4 |
| 古河・坂東 | 354 | 350 | 4 | 1.1% | 159.9 | 156.3 | 3.6 | 2.3% | 340 | 153.5 |
| 茨城県 | 6,029 (100.0) | 5,838 | 191 | 3.3% | 212.3 | 203.6 | 8.7 | 4.3% | 5,737 | 202.0 |
| 全国 | 343,275 | 339,623 | 3,652 | 1.1% | 274.7 | 269.2 | 5.5 | 2.0% | 327,444 | 262.1 |

地域定着プログラムの概要

| 学年 | プログラム名 | ねらい | 内 容 | 実施場所 | 人 数 (G:グループ) | 期 間・ 方 法 |
|---|---------------------------|--|---|---|---|---------------------------------|
| 低学年：入学直後より繰り返し地域医療に触れ、その重要性と魅力を知り、地域医療へのモチベーションを高める | | | | | | |
| 1 | 医療・福祉現場でのふれあい等 | 入学直後に現場に触れ、地域医療に興味を持つ。 | 訪問看護、特別養護老人ホームなどの福祉施設と、診療所の見学実習を行う。 | 訪問看護ステーション、特別養護老人ホーム、グループホーム他 | 2～7名 ×11G ×3set | 6日間 (1人2日間) |
| 2 | 医療概論Ⅱ「在宅ケア」 | 地域における在宅ケアマネジメントを通して、急性期病院とは異なる地域医療の特性を学ぶ。 | 地域医療研修ステーションで在宅医療を受けているケースについて、テュートリアル形式でケアプランを作成する。 在宅ケアに関するテュートリアルの後に茨城県内の地域医療現場で実習を行い、生の患者の姿とその生活を支える地域医療に従事する医師の役割・その重要性を学ぶ。 | 大学(地域医療研修ステーションの症例を用いる。) 地域医療研修ステーションほか、県内の診療所 | 7～8名 ×18G 1～4名 ×16施設 ×1～13回 | 1週間 1日(3～7時間) |
| 2 | 医療概論Ⅱ「職種間連携」 | 将来、専門職連携IPWを実践できる医療人となるために、職種の異なる学生同士のグループワークを通して、職種の役割、視点を理解し、連携について学ぶ。 | Team-based learning(TBL)方式に準じ、6-7名の職種混成グループで、グループ討論と発表を繰り返しながら学習する。 | 別会場を借りて実施。 | 6～7名 ×48G | 3コマ |
| 3 | 医療概論Ⅲ「地域ヘルス・プロモーション/行動科学」 | 予防医学の重要性を知り、地域における健康教育を実際に体験する。 | 健康教育について大学で準備教育を受けた後、地方自治体・地域医療研修ステーション等で行われる、住民および学校を対象とした健康教室に直接参加する。 | 大学(準備教育)、自治体、学校、地域医療研修ステーション | 基礎コース :129名 健康教室実習 :4～22名前後 ×7G | 基礎コース :6コマ 健康教室実習 :5日間 |
| 3 | 医療概論Ⅲ「ケア・コロキウム」 | 医療保健福祉各専門職種の理解を深め、チームワークおよび当事者の力を引き出すエンパワメントの意義を理解し、互いに連携しながらケアの方針をたてる過程を体験する。 | 医学群の3学類(医学・看護・医療科学)及び東京理科大学薬学部の学生で構成された小グループ討論(テュートリアル)を行う。地域医療における実際の事例を用いて、専門領域の異なるメンバー間で、疾病や障害がある人とその家族に対する質の高いケアの在り方について討論する。 | ゼミ室、講義室 実習室 | 7～8名 ×40G | 1週間 |
| 高学年：ある程度臨床医学を学んだ立場で地域医療に関わり、医師の果たす役割を知って将来のキャリアデザインに役立てる | | | | | | |
| 5 | M5 クリニカル・クラークシップ | 地域医療において医師の果たす役割とやりがいを実感する。 | クリニカルクラークシップ形式による外来診療(救急外来含む)、病棟実習を行う。 | 地域医療研修センター 地域医療機関 地域医療教育拠点病院 | 地域病院 1～4名/施設 (両必修科目どちらかの科目の中で実施する) | 4週間 (両必修科目どちらかの科目の中で実施する) |
| 6 | M6 クリニカル・クラークシップ | 地域医療において医師の果たす役割とやりがいを実感する。 | クリニカルクラークシップ形式による外来診療(救急外来含む)、病棟実習を行う。 | 地域医療研修センター 地域医療機関 地域医療教育拠点病院 | 地域病院 1～4名×18施設 ×8sets | 3週間 |
| 6 | 医療概論Ⅴ | 地域における生活者としての患者の姿を知り、医療において医師の果たす役割とやりがいを実感する。 | クリニカルクラークシップ形式による外来診療、訪問診療、地域ヘルス・プロモーション実習を行う。 | 地域医療研修ステーションほか診療所 | 診療所、市中病院 1～4名×18施設 ×8sets | 3週間 |

別記様式第2号（その2の1）

（用紙 日本産業規格A4縦型）

| 教 育 課 程 等 の 概 要 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------------------------|--------------------------------------|--------------------------------|--------|-----|----|----|------|----|-------|----------|-----|----|----|----|---------|------------------|--|
| (医学群医学類) | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 主要授業科目 | 単位数 | | | 授業形態 | | | 基幹教員等の配置 | | | | | 備考 | | |
| | | | | 必修 | 選択 | 自由 | 講義 | 演習 | 実験・実習 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | | 基幹教員以外 の教員 | |
| 基礎科目 (共通科目) | ファーストイヤーセミナー | 1前 | ○ | 1 | | | | ○ | | | | | | 3 | 3 | | |
| | 学問への誘い | 1前 | ○ | 1 | | | | ○ | | | | | | 3 | 3 | | |
| | 学士基盤科目 | 1前・後 | ○ | | 1 | | | ○ | | 1 | 1 | | | | | 94 | |
| | 基礎体育 | 1前・後 | | 1 | | | | | | | | | | | | 40 | |
| | 応用体育 | 2前・後 | | 1 | | | | | | | | | | | | 28 | |
| | 英語 | English Reading Skills I | 1前 | | 1 | | | | ○ | | | | | | | 10 | |
| | 英語 | English Reading Skills II | 1後 | | 1 | | | | ○ | | | | | | | 10 | |
| | 英語 | English Presentation Skills I | 1前 | | 1 | | | | ○ | | | | | | | 10 | |
| | 英語 | English Presentation Skills II | 1後 | | 1 | | | | ○ | | | | | | | 10 | |
| | 情報 | 情報リテラシー (講義) | 1前 | | 1 | | | ○ | | | | | | | | 2 | |
| | 情報 | 情報リテラシー (演習) | 1前 | | 1 | | | | ○ | | | | | | | 3 | |
| | 情報 | データサイエンス | 1後 | | 2 | | | | ○ | | | | | | | 3 | |
| | 国語 | 国語 I | 1前 | | 1 | | | ○ | | | | | | | | 3 | |
| | 小計 (13科目) | — | — | 13 | 1 | 0 | | — | | 1 | 0 | 1 | 3 | 0 | 143 | | |
| 基礎科目 (関連科目) | 医学のための心の科学 | 1前 | ○ | | 1 | | | ○ | | | | 1 | | | 2 | | |
| | 行動生理学の基礎 | 1前 | ○ | | 1 | | | ○ | | | 1 | | | | | | |
| | 海外プロジェクト概論(ロシア語圏) | 1・2・3・4・5・6後 | ○ | | 1 | | | ○ | | | | 1 | | | 2 | 集中 | |
| | 放射線と生命—人体への影響と医療への貢献— | 1後 | ○ | | 1 | | | ○ | | | 1 | | | | 2 | | |
| | 神経回路研究の最前線 | 1後 | ○ | | 1 | | | ○ | | | 1 | | | | | | |
| | 脳神経疾患の概略を理解する | 1後 | ○ | | 1 | | | ○ | | | 1 | | | | 1 | | |
| | 臨床感覚器学 | 1後 | ○ | | 1 | | | ○ | | | | 1 | | | | | |
| | 形成外科学入門 | 1後 | ○ | | 1 | | | ○ | | | 1 | | | | | | |
| | 医科生化学 | 1前 | ○ | | 2 | | | ○ | | | 1 | | | | 4 | | |
| | 医科分子生物学 | 1後 | ○ | | 2 | | | ○ | | | 1 | | | | 1 | | |
| スポーツ医学とは?フロントランナーに聞いてみよう!! | 1後 | ○ | | 1 | | | ○ | | | 1 | | | | | | | |
| アジア救急医学集中講座 | 1・2・3・4・5後 | ○ | | 1 | | | ○ | | | | 1 | | | | ※演習, 集中 | | |
| 基礎医学研究の最前線 | 1前 | | | 1 | | | ○ | | | | | | | 2 | | | |
| | 小計 (13科目) | — | — | 0 | 15 | 0 | | — | | 7 | 3 | 0 | 0 | 0 | 13 | | |
| 専門基礎科目 | 力学I | 1前 | | | 1 | | | ○ | | | | | | | 5 | | |
| | 電磁気学I | 1後 | | | 1 | | | ○ | | | | | | | 1 | | |
| | 化学2 | 1後 | | | 1 | | | ○ | | | | | | | 1 | | |
| | 化学3 | 1後 | | | 1 | | | ○ | | | | | | | 1 | | |
| | 生物学I | 1前 | | | 1 | | | ○ | | | | | | | 1 | | |
| | 生物学II | 1後 | | | 1 | | | ○ | | | | | | | 6 | | |
| | Clinical Communication in English I | 2前 | ○ | 1 | | | | | ○ | | | 1 | | | 2 | | |
| | Clinical Communication in English II | 2後 | ○ | 1 | | | | | ○ | | | 1 | | | 2 | | |
| | TOEFL演習 | 3通 | | 1 | | | | | ○ | | | | | | 1 | | |
| | 小計 (9科目) | — | — | 3 | 6 | 0 | | — | | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 17 | | |
| 専門科目 | 医学統計学 | 1後 | ○ | 1 | | | | ○ | | | 1 | | | | | | |
| | 医療・福祉現場でのふれあい等 | 1前 | ○ | 2 | | | | | ○ | | 16 | 13 | 41 | 7 | | 集中 | |
| | 医療概論I | 1前 | ○ | 2 | | | | | ○ | | 21 | 11 | 15 | 5 | | | |
| | 医療概論I-B | 2前 | ○ | | 2 | | | | ○ | | 2 | | | | | | |
| | 医学の基礎 | 1休・後 | ○ | 11 | | | | ○ | | | 13 | 6 | 13 | 2 | | ※演習, 実習・実験 集中 | |

| | | | | | | | | | | | | | | |
|-------------------------------------|------------|---|-----|----|----|---|---|----|----|-----|----|---|---|---------------------|
| 医学の基礎B | 2通 | ○ | | 9 | | ○ | | 10 | 1 | 1 | 1 | | | ※実習・実験 集中 |
| 機能・構造と病態I | 2通 | ○ | 27 | | | ○ | | 40 | 31 | 72 | 9 | | | ※演習,実習・実 験 集中 |
| 医療概論II | 2通 | ○ | 2 | | | ○ | | 2 | 5 | 9 | 3 | | | ※演習,実習・実 験 集中 |
| 機能・構造と病態II | 3通 | ○ | 37 | | | ○ | | 45 | 35 | 87 | 12 | | | ※演習,実習・実 験 集中 |
| 医療概論III | 3通 | ○ | 3 | | | ○ | | 4 | 6 | 9 | 3 | | | ※演習,実習・実 験 集中 |
| クリニカル・クラークシップ準備学習 | 4前 | ○ | 18 | | | ○ | | 29 | 26 | 62 | 9 | | | ※演習,実習・実 験 集中 |
| 社会医学実習 | 4前 | ○ | 2 | | | | ○ | 7 | 4 | 1 | 4 | | | 集中 |
| M4クリニカル・クラークシップ(Phase IA) | 4後 | ○ | 11 | | | | ○ | 40 | 38 | 100 | 11 | | | 集中 |
| 医療概論IV | 4前 | ○ | 2 | | | ○ | | 19 | 14 | 30 | 3 | | | ※演習,実習・実 験 集中 |
| M5クリニカル・クラークシップ(Phase IB、Phase IIA) | 5通 | ○ | 22 | | | | ○ | 42 | 39 | 100 | 11 | | | 集中 |
| M6クリニカル・クラークシップ(Phase IIB) | 6前 | ○ | 4 | | | | ○ | 42 | 39 | 100 | 11 | | | 集中 医学主専攻必修 |
| M6アドヴァンスト・エレクトィヴズ | 6前 | ○ | 11 | | | | ○ | 42 | 38 | 100 | 11 | | | 集中 医学主専攻必修 |
| 医療概論V | 6前 | ○ | 2 | | | | ○ | 2 | 2 | 6 | 7 | | | 集中 |
| 医学総括 | 6通 | ○ | 10 | | | ○ | | 39 | 30 | 52 | 2 | | | 集中 |
| English Medical Terminology I | 2休・後 | ○ | 1 | | | | ○ | | 1 | | | | | |
| English Medical Terminology II | 3通 | ○ | 2 | | | | ○ | | 1 | | | | | |
| 専門語学(英語)C | 2・3・4・5・6通 | ○ | 1 | | | | ○ | 1 | | | | | | |
| 専門語学(英語)E | 2・3後 | ○ | 1 | | | | ○ | | | | 1 | | | |
| 専門語学(英語)G | 3・4・5・6通 | ○ | 3 | | | | ○ | | 1 | 1 | | | | 1 |
| 専門語学(英語)N | 2・3・4前 | ○ | 1 | | | | ○ | | | | | | | 1 集中 |
| 専門語学(英語)O | 4・5・6前 | ○ | 1 | | | | ○ | | | | | | | 1 集中 |
| 専門語学(英語)P | 5後 | ○ | 1 | | | | ○ | | | | | | | 2 集中 |
| 専門語学(ロシア語) | 3・4・5・6通 | ○ | 3 | | | | ○ | | | | | | | 2 |
| 研究室演習 | 1通 | ○ | | 3 | | | ○ | 12 | 4 | 1 | 2 | | | |
| 研究室演習I | 2通 | ○ | | 3 | | | ○ | 12 | 4 | 1 | 2 | | | |
| 研究室演習II | 3通 | ○ | | 3 | | | ○ | 12 | 4 | 1 | 2 | | | |
| 研究室演習III | 4通 | ○ | | 3 | | | ○ | 12 | 4 | 1 | 2 | | | |
| 小計(32科目) | — | — | 155 | 37 | 12 | — | — | 55 | 45 | 101 | 15 | 0 | 6 | |

| | | | | | | | | | | | | | | |
|----------|---|---|-----|----|----|---|---|----|----|-----|----|---|-----|--|
| 合計(67科目) | — | — | 171 | 59 | 12 | — | — | 55 | 45 | 101 | 15 | 0 | 173 | |
|----------|---|---|-----|----|----|---|---|----|----|-----|----|---|-----|--|

| | | | |
|--------|--------|-----------|------|
| 学位又は称号 | 学士(医学) | 学位又は学科の分野 | 医学関係 |
|--------|--------|-----------|------|

| 卒業・修了要件及び履修方法 | 授業期間等 |
|---------------|-------|
|---------------|-------|

| | | |
|----------------------------|-------------|-----|
| 次の履修方法により合計199単位以上を修得すること。 | 1学年の学期区分 | 2期 |
| 1.基礎科目 | 1学期の授業期間 | 15週 |
| (1)共通科目 必修13単位、選択1単位 | 1時限の授業の標準時間 | 75分 |
| (2)関連科目 選択7単位 | | |
| 2.専門基礎科目 必修3単位、選択5単位 | | |
| 3.専門科目 必修155単位、選択15単位 | | |

- (注)
- 学部等, 研究科等若しくは高等専門学校等の設置又は大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科における通信教育の開設の届出を行おうとする場合には, 授与する学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等, 研究科等若しくは高等専門学校の学科(学位の種類及び分野の変更等に関する基準(平成十五年文部科学省告示第三十九号)別表第一備考又は別表第二備考に係るものを含む。)についても作成すること。
 - 私立の大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合, 大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は, この書類を作成する必要はない。
 - 開設する授業科目に応じて, 適宜科目区分の枠を設けること。
 - 「主要授業科目」の欄は, 授業科目が主要授業科目に該当する場合, 欄に「○」を記入すること。なお, 高等専門学校の学科を設置する場合は, 「主要授業科目」の欄に記入せず, 斜線を引くこと。
 - 「単位数」の欄は, 各授業科目について, 「必修」, 「選択」, 「自由」のうち, 該当する履修区分に単位数を記入すること。
 - 「授業形態」の欄の「実験・実習」には, 実技も含むこと。
 - 「授業形態」の欄は, 各授業科目について, 該当する授業形態の欄に「○」を記入すること。ただし, 専門職大学等又は専門職学科を設ける大学若しくは短期大学の授業科目のうち, 臨地実務実習については「実験・実習」の欄に「臨」の文字を, 連携実務演習等については「演習」又は「実験・実習」の欄に「連」の文字を記入すること。

- 8 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員等」は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員等」と読み替えること。
- 9 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員以外の教員（助手を除く）」は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員以外の教員（助手を除く）」と読み替えること。
- 10 課程を前期課程及び後期課程に区分する専門職大学若しくは専門職大学の学部等を設置する場合又は前期課程及び後期課程に区分する専門職大学の課程を設置し、若しくは変更する場合は、次により記入すること。
 - (1) 各科目区分における「小計」の欄及び「合計」の欄には、当該専門職大学の全課程に係る科目数、「単位数」及び「基幹教員等の配置」に加え、前期課程に係る科目数、「単位数」及び「基幹教員等の配置」を併記すること。
 - (2) 「学位又は称号」の欄には、当該専門職大学を卒業した者に授与する学位に加え、当該専門職大学の前期課程を修了した者に授与する学位を併記すること。
 - (3) 「卒業・修了要件及び履修方法」の欄には、当該専門職大学の卒業要件及び履修方法に加え、前期課程の修了要件及び履修方法を併記すること。
- 11 高等専門学校を学科を設置する場合は、高等専門学校設置基準第17条第4項の規定により計算することのできる授業科目については、備考欄に「☆」を記入すること。

《理工学群工学システム学類並びに情報学群情報科学類及び情報メディア創成》

1. 学則変更（収容定員変更）の内容

令和7年度から、理工学群工学システム学類並びに情報学群情報科学類及び情報メディア創成学類の入学定員をそれぞれ次のように増員する。増員前後の入学定員及び収容定員は表1のとおりである。

- 工学システム学類 : 入学定員を8人、3年次編入学定員を5人増員
- 情報科学類 : 入学定員を6人、3年次編入学定員を4人増員
- 情報メディア創成学類 : 入学定員を4人、3年次編入学定員を4人増員

(表1) 増員前後の入学定員及び収容定員 (単位:人)

| 学群・学類 | 変更前（令和6年4月） | | | 変更後（令和7年4月） | | |
|------------|-------------|----------|------|-------------|----------|------|
| | 入学定員 | 3年次編入学定員 | 収容定員 | 入学定員 | 3年次編入学定員 | 収容定員 |
| 理工学群 | | | | | | |
| 工学システム学類 | 130 | 0 | 520 | 138 | 5 | 562 |
| 情報学群 | | | | | | |
| 情報科学類 | 80 | 10 | 340 | 86 | 14 | 372 |
| 情報メディア創成学類 | 50 | 10 | 220 | 54 | 14 | 244 |

2. 学則変更（収容定員変更）の必要性

(1) 社会的要請

国内の労働人口減少や高齢化に伴い、労働生産性の向上やデジタル経済への移行による利便性の飛躍的進展を図るため、社会のあらゆる分野においてデジタルトランスフォーメーションの推進が求められている。一方、我が国においては、これを支える高度人材の不足や国際競争力の遅れが指摘されている。例えば経済産業省委託調査によれば、人材のスキル転換が停滞した場合、令和12年度には先端IT人材が54.5万人不足するという調査結果が報告されている。また、国際経営開発研究所の試算によれば、日本のデジタル競争力は28位と先進諸国の中では低い結果となっている。さらには高等学校段階での理系離れや、大学入学者における理工系の割合の低さ、理工系におけるジェンダーギャップ等の課題も指摘されている。これらの状況を踏まえると、我が国の成長を牽引する高度情報専門人材の育成を拡充することは喫緊の課題であり、早急に人材育成機能の強化を図る必要がある。

このような背景の下、教育未来創造会議第一次提言において大学における成長分野への学部再編等の必要性が指摘された。これを受けて、令和5年4月に大学改革支援・学位授与機構による助成事業「大学・高専機能強化支援事業（高度情報専門人材の確保に向けた機能強化に係る支援）」が開始され、国公立の大学における情報系学部・研究科等の教育体制の強化に向けた支援が行われている。

(2) 筑波大学の取組

本学は、昭和 48 年の開学当初から、基礎的な情報リテラシーとコンピュータの利用技術の習得を目的とした共通科目「情報」2 単位を学士課程における全学必修科目として開設してきた。令和元年には、データに基づいた客観的な判断や意思決定の必要性が社会においても強く認識されていることに鑑み、新たに「データサイエンス」2 単位を加え、計 4 単位を必修とした。専門教育においても、本学の開設計画に基づき昭和 52 年に情報学類（現情報科学類）を設置し、平成 3 年には工学システム学類を新設した。さらに平成 14 年には図書館情報大学と統合し、その後平成 19 年には学群の全面改組を機に情報学群を設置するとともに情報メディア創成学類を新設するなど、開学から今日まで先進的で特色ある情報系の学士課程教育を展開している。

大学院においても、工学研究科に電子・情報工学専攻（昭和 56 年設置）、知能機能工学専攻（平成 7 年設置）を置き、平成 12 年には博士課程研究科の全面改組によりシステム情報工学研究科コンピュータサイエンス専攻及び知能機能システム専攻へと再編した。さらに平成 14 年には図書館情報大学との統合により図書館情報メディア研究科を設置した。令和 2 年度の学位プログラム制への移行後は、情報理工学位プログラム、知能機能システム学位プログラム、情報学学位プログラムを編成し、先端的で幅の広い情報系大学院教育を行っている。

この間、先導的 IT スペシャリスト育成推進プログラム拠点校、第 1 期 enPiT ビジネスアプリケーション分野代表、第 2 期 enPiT ビジネスシステムデザイン分野中核拠点等として、産学協働による実践的教育等に取り組み、情報系教育の充実・高度化を牽引してきた。独立行政法人情報処理推進機構が実施する未踏 IT 人材発掘・育成事業においても、例年、本学学生が採択あるいはスーパークリエイタに認定されている。令和 3 年には数理・データサイエンス・AI(MDA)教育の全国展開の推進拠点校に選定され、教育担当副学長を本部長とする「分野融合型数理・データサイエンス・AI 教育推進本部」を設置し、学士課程から博士後期課程に至る全学的な MDA 教育を推進している。文部科学省の MDA 教育プログラム認定制度においては、全学でリテラシーレベル・プラス、理工学群が応用基礎レベル・プラス、情報学群が応用基礎レベルに認定されている。

こうした実績を基盤として、上記（1）で述べた高度情報専門人材の育成に係る社会的要請への対応をさらに加速させるため、「世界・社会をキャンパスとした筑波大学情報系トップ人材育成機能強化事業」を計画し、令和 5 年度から活動を開始した。本事業では、世界トップレベルの研究者・技術者育成、企業等のニーズを踏まえた高度情報専門人材育成の機能強化に向けて、大学院における学修環境・指導体制や修学・キャリア支援の充実のための取組を行うとともに、情報系の入学定員を博士前期課程 90 人、博士後期課程 16 人増員することとしている（それぞれ現在の入学定員の約 3 割に相当）。高度情報専門人材の育成を質・量ともに向上させるためには、大学院の拡充とともに、大学院に進学を希望する学生の裾野を広げるために学士課程の定員増が必要であることから、増員する大学院学位プログラムの主な学内進学元である理工学群工学システム学類並びに情報学群情報科学類及び情報メディア創成学類の入学定員の増員を行う（これらの定員増は、大学・高専機能強化支援事業（高度情報専門人材の確保に向けた機能強化に係る支援）による定員増を活用）。

3. 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容

（1）教育課程、教育方法及び履修指導方法

収容定員の変更に伴う教育課程、教育方法及び履修指導方法の変更は行わない。定員増を行う3学類における教育課程編成等の要点は次のとおりである。

① 工学システム学類

知的・機能工学システム主専攻とエネルギー・メカニクス主専攻の2主専攻分野で構成される。各主専攻分野で学ぶ内容に多少の違いはあるが、できる限り分野横断性を重視するカリキュラムを用意している。

1・2年次は様々な専門分野を横断的に学ばせるカリキュラム体系により、工学システム学類のどちらの主専攻分野にも対応できる基礎能力を養うとともに、横断的に工学分野を捉えた「工学システム」の概念を学習する。2年次秋学期からは二つの主専攻分野に分かれ、様々な専門分野の特色ある科目を選択し、深い専門知識を習得する。2年次及び3年次は各主専攻分野における基礎実験・専門実験・応用実験と関連の専門科目の履修を通して、様々なシステムの設計を行うために必要な統合・創造・解決能力を養う。また、すべての実験は数名の班を単位として実施されるため、チームワーク力の涵養にも役立つ。4年次は、主専攻分野に限定することなく学類内の希望する研究室の一つに配属させ、修得した基礎能力と幅広い専門知識を活かして、卒業研究を完成させる。これにより人々の生活に役立つ工学的なシステムを構築する能力をもった技術者を育成する。

本学類では社会が要請する教育水準を確保するため、実務系などの複数の専門科目において産業界からの非常勤講師を積極的に任用し、また外国人教員による専門英語科目を開設している。さらに、各学年で実施する実験・演習科目のために十分な数の実験室と装置、並びに多数の学生が同時に利用可能な大規模なプログラミング演習室を用意している。また毎学期、学生に対してクラス担任による個人面談を行い、学修をきめ細かく指導している。

なお、大学・高専機能強化支援事業において増員対象になった大学院の学位プログラムの一つである知能機能システム学位プログラムは、知的・機能工学システム主専攻¹の卒業生の主たる進学先になっている。さらに、3年次編入学生の多くは知的・機能工学システム主専攻に入学している（令和3-5年度平均で約74%）²。これより、3年次以降の専門教育において、高度情報人材育成を意図した大学院学位プログラムと整合する指導が可能になる。

② 情報科学類

ハードウェア・ネットワークからソフトウェア・知能メディアまで、情報分野における国際標準のカリキュラムを包含し、最新の技術動向を反映した質の高いカリキュラムを提供する。情報科学・工学に関する幅広い知識とともに、ソフトウェアサイエンス主専攻分野においては

¹ 令和5年度卒業生までは学類は4主専攻体制である。そのうち、知的工学システム主専攻と機能工学システム主専攻の2主専攻が知的・機能工学システム主専攻に対応する。

² 令和3-5年度に知的工学システム主専攻と機能工学システム主専攻へ入学した編入学生の合計の平均である。

プログラム言語理論や数理モデリング、ソフトウェア科学、知能インタフェースなどの情報科学分野における高度な専門性を、情報システム専攻及び知能情報メディア専攻においてはハードウェア・ネットワーク・基盤ソフトウェアから知能メディア・メディア情報学などの情報工学分野における高度な専門性を身につけることができるようバランスのとれた教育を実施するとともに、学生が自ら選択し学ぶことを重視する。

1・2年次には、英語を含む外国語、幅広い分野から自ら選択して学習する科目、体育などを通じて、社会人として活躍するための教養を身につける。また、数学など情報科学・工学の基礎となる科目群を修得するとともに、ハードウェア、プログラミング、アルゴリズムなど情報分野全般にわたる基盤となる事項を実習や実験を交えて学習する。3年次には、ソフトウェアサイエンス専攻分野においては数理モデリングとソフトウェア科学などを中心とした授業により情報科学に関する知識と高い専門性を獲得し、情報システム専攻及び知能情報メディア専攻においては基盤ソフトウェア・システム構築や知能情報・メディア工学などの授業により、情報工学全般に関する知識と専門性を獲得する。さらに、ソフトウェアサイエンス実験、情報システム実験、知能情報メディア実験により、実践的技術力と問題解決能力を獲得する。また、これらの専攻分野を含めた広範な情報科学・工学における専門的学修により、幅広い専門知識と専門技術を獲得する。4年次においては、上記の学修に加えて、卒業研究・専門語学により情報科学・情報工学における革新的技術を生み出せる創造力とチャレンジ精神を滋養するとともに、国際的な視点からの発想力とコミュニケーション能力、協調性を身につけ、実社会で通用する能力を獲得する。

情報科学・工学の専門科目のみならず、数学、英語などの基礎となる科目においても、演習やコンピュータによる実習・実験を多く取り入れ、講義で得た知識や技術への理解を深める教育を実施する。また、学生が自らテーマ設定・計画立案をして学習する科目など、学生の自主性を引き出すための科目群を用意する。さらに、「組み込み技術キャンパス OJT プログラム」では、企業で製品開発に携わる講師による実践的教育を受けることができる。

③ 情報メディア創成学類

コンテンツの蓄積や流通を支えるネットワークメディア・テクノロジーと、コンテンツの活用・製作にかかわるコンテンツテクノロジーの2領域を中心に、これら2領域に欠かすことのできない情報科学・技術分野の教育を融合した情報メディア科学のカリキュラムを提供する。幅広い知識と高度な専門性を学生の主体的選択により身につけることができるような科目群を提供する。

1年次では、線形代数や微分積分といった数学科目とリテラシーやプログラミングの情報技術科目を中心に、情報科学・技術分野における基礎力を身につけるとともに、コンテンツ処理に関する導入科目でアートの素養などを身につける。2年次では、データやアルゴリズム、ネットワークに関する科目、人・文化・社会に対する広い視野と教養を養うための人間の科学やネットワーク社会とビジネスに関する科目などにより、1年次の基礎力に幅をもたせ情報科学に関する確かな技術力と応用力、倫理観を身につける。3、4年次では、情報メディア科学に関する6つの分野（インターネット・通信技術、コンテンツの蓄積・流通技術、インタラクション技術、コンピュータサイエンス、コンテンツ処理・活用技術、コンテンツ製作基盤技術）の専

門科目が幅広く提供されており、また長期にわたって1つのテーマを追究する実験科目の履修とあわせて、専門性はもとより、ヒューマンスキルや実践力なども身につける。そして、4年次の卒業研究により、情報メディア科学における専門知識、技術力などの総仕上げを行い、革新的技術や科学的理論を創造的に生み出すことができる実践力を身につける。

これらは、各学生の履修計画やモチベーションに応じて、共通する基礎を修得した上で、自由に科目を選べるカリキュラムとなっている。これにより、学生自身の希望や適性に適合した多様な履修計画が可能となり、社会のニーズに応じた様々な進路に対応可能となっている。また、ダイナミックに変容しているネットワーク情報社会の現状、未来を見据え、産業界から招聘した講師陣による、実体験を踏まえた指導も生かしている。さらに、「組み込み技術キャンパス OJT プログラム」を始めとして、先端 IT 企業（ベンチャー企業含む）等との連携により、実社会で真に必要なとされる技術の修得を目指す演習・実験科目も実施している。

(2) 教員組織

3 学類の現在の教育体制を基本として教育を行う。教員数は工学システム学類 73 人、情報科学類 57 人、情報メディア創成学類 32 人である。一方、増員前の収容定員は、工学システム学類 520 人、情報科学類 340 人、情報メディア創成学類 220 人、増員後（完成年度）はそれぞれ 562 人（42 人増）、372 人（32 人増）、244 人（24 人増）である。教員 1 人当たりの学生数は、増員前は工学システム学類 7.1 人、情報科学類 6.0 人、情報メディア創成学類 7.1 人、増員後（完成年度）はそれぞれ 7.7 人、6.5 人、7.9 人となる。いずれの学類も 1 人未満の上昇にとどまり、増員後もこれまでの教育課程を継続して実施可能であり、教育の質を担保する上で問題はない。

なお、大学・高専機能強化支援事業の助成金を活用して、11 人の新規教員を配置予定である。これらの教員は、定員増を行う大学院の学位プログラムにおける授業及び研究指導、トップ人材育成に繋がる MDA 教育プログラムにおける教育・学生指導、本事業のハイレベル枠の取組に係る業務を主に担当する。学士課程においては、大学院の担当学位プログラムに対応する学類の教育に参画する。

(3) 大学全体の施設・設備

3 学類の定員増により収容定員が 98 人増員（完成年度）になるが、既存の講義室、演習室、実験室等に収容できる範囲内であるため、教育の実施に問題はない。具体的には次のとおりである。

3 学類の専門基礎科目及び専門科目の必修科目の教室の収容人数を表 2 に示す（オンライン授業（対面を併用しないもの）及び指導教員の研究室で行う科目は除く）。これらすべての科目について、工学システム学類では収容人数 150 人以上、情報科学類では同 96 人以上、情報メディア創成学類では同 70 人以上の教室を確保している（収容人数は、複数の教室を利用する場合はその合計値）。増員後の入学定員は、工学システム学類が 1 年次 138 人及び 3 年次編入 5 人、情報科学類が 1 年次 86 人及び 3 年次編入 14 人、情報メディア創成学類が 1 年次 54 人及び 3 年次編入 14 人であり、各科目の標準履修年次に対応する履修者数を収容可能である。選択科目はこれらの科目よりも 1 科目当たりの履修者数は少ないため、教室の収容人数に問題は生じない。

基礎科目（共通科目）は全学的に班分けや曜時限の調整を行い、全学の施設を利用して授業を行うので、教室の確保・収容人数に問題は生じない。

また、本学では全学の学生を対象として、Microsoft 製品、アンチウイルスソフト、SPSS（統計解析ソフト）、Mathematica（数式処理システム）、ArcGIS（地理情報システム）等のソフトウェアライセンスを無償で提供している。これらのライセンスは、本学情報環境機構学術情報メディアセンターが、学内のニーズを踏まえて必要なライセンス数を確保できるよう各メーカーと契約を締結して運用しており、3学類の増員後も全学的なサービスとして継続する。

なお、大学・高専機能強化支援事業の助成金を活用して、本事業による大学院の定員増及び取組に必要な施設・設備の整備を行う予定である。当該施設・設備は主に大学院の教育研究に関わるものであるが、当該施設には国内外の連携機関の教員・研究者や実務家との交流の場を整備する予定であり、学士課程の3学類においても有効に活用する。

(表 2) 増員対象学類の必修科目の教室収容人数

■工学システム学類（増員後の入学定員：1年次 138人、3年次編入5人）

| 科目名 | 標準履修年次 | 教室 | 収容人数（合計） |
|-------------|--------|-------------|----------|
| 数学リテラシー1 | 1 | 3A207,3A306 | 222 |
| 数学リテラシー2 | 1 | 3A207,3A306 | 222 |
| 微積分 1 | 1 | 3A209,3A306 | 224 |
| 微積分 2 | 1 | 3A209,3A306 | 224 |
| 微積分 3 | 1 | 3A209,3A306 | 224 |
| 線形代数 1 | 1 | 3A209,3A306 | 224 |
| 線形代数 2 | 1 | 3A402,3A403 | 404 |
| 線形代数 3 | 1 | 3A209,3A306 | 224 |
| 工学システム原論 | 2 | 3A202 | 180 |
| 線形代数総論 A | 2 | 3A202,3A203 | 293 |
| 線形代数総論 B | 2 | 3A204 | 315 |
| 解析学総論 | 2 | 3A204 | 315 |
| 常微分方程式 | 2 | 3A204 | 315 |
| 力学総論 | 2 | 3A403 | 202 |
| 材料力学基礎 | 2 | 3A204 | 315 |
| 熱力学基礎 | 2 | 3A204 | 315 |
| 流体力学基礎 | 2 | 3A204 | 315 |
| 複素解析 | 2 | 3A402 | 202 |
| プログラミング序論 B | 2 | 3L201,3L504 | 210 |
| 工学者のための倫理 | 4 | 2B412 | 180 |
| 専門英語 A | 2 | 3L201,3L202 | 220 |
| 専門英語 B | 2 | 3A202 | 180 |
| 専門英語演習 | 3 | 3A301,3L504 | 210 |

| | | | |
|--------------|---|---|-----|
| 工学システム基礎実験 A | 2 | 3L103,3L203,3L204,3L205, 3A316,3A317,3A318,3A420 | 150 |
| 工学システム基礎実験 B | 2 | 3L103,3L203,3L204,3L205, 3A316,3A317,3A318,3A420 | 150 |

■情報科学類（増員後の入学定員：1年次 86人、3年次編入 14人）

| 科目名 | 標準履修年次 | 教室 | 収容人数（合計） |
|----------------|--------|-------------|----------|
| 線形代数 A | 1 | 3B402,3B405 | 208 |
| 線形代数 B | 2 | 3B202,3B203 | 180 |
| 微分積分 A | 1 | 3A301,3B405 | 224 |
| 微分積分 B | 2 | 3B202,3B203 | 180 |
| 情報数学 A | 1 | 3A209,3A207 | 228 |
| 専門英語基礎 | 2 | 3A301 | 120 |
| プログラミング入門 A | 1 | 3C113,3C205 | 150 |
| プログラミング入門 B | 1 | 3C113,3C205 | 150 |
| コンピュータとプログラミング | 2 | 3A204 | 315 |
| データ構造とアルゴリズム | 2 | 3A301 | 120 |
| データ構造とアルゴリズム実験 | 2 | 3C113,3C205 | 150 |
| 論理回路 | 2 | 3A402 | 202 |
| 論理回路演習 | 2 | 3C301,3C304 | 96 |

■情報メディア創成学類（増員後の入学定員：1年次 54人、3年次編入 14人）

| 科目名 | 標準履修年次 | 教室 | 収容人数（合計） |
|----------------|--------|-------------------------------|----------|
| 微分積分 A | 1 | 3B402 | 104 |
| 微分積分 B | 2 | 7A106 | 92 |
| 線形代数 A | 1 | 3L202 | 100 |
| 線形代数 B | 2 | 7A105 | 96 |
| 情報数学 A | 1 | ユニオン講義室 | 204 |
| 確率と統計 | 2 | 7A106 | 92 |
| プログラミング入門 A | 1 | 3A402 | 202 |
| プログラミング入門 B | 1 | 3A402 | 202 |
| プログラミング | 2 | 7C202 | 70 |
| コンピュータシステムと OS | 2 | 7C202 | 70 |
| データ構造とアルゴリズム | 2 | 7A106 | 92 |
| データ構造とアルゴリズム実習 | 2 | 7C202 | 70 |
| データ工学概論 | 2 | 7C202 | 70 |
| 情報メディア実験 A | 3 | 7B106,7C202,クリエイティブ メディアラボ | 130 |
| 情報メディア実験 B | 3 | 7B106,7C202,クリエイティブ メディアラボ | 130 |

| 教 育 課 程 等 の 概 要 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----------------|--------------------------------|------|--------|-----|----|----|------|----|-------|----------|-----|----|----|----|----|-----------|----------|
| (理工学群 工学システム学類) | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 主要授業科目 | 単位数 | | | 授業形態 | | | 基幹教員等の配置 | | | | | 備考 | | |
| | | | | 必修 | 選択 | 自由 | 講義 | 演習 | 実験・実習 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | | 基幹教員以外の教員 | |
| 基礎科目（共通科目） | ファーストイヤーセミナー | 1前 | | 1 | | | | | | 1 | 1 | | | | | | |
| | 学問への誘い | 1前 | | 1 | | | ○ | | | 1 | 1 | | | | | | |
| | 学士基盤科目 | 1前・後 | | | 1 | | ○ | | | 3 | 2 | | | | | | 99 |
| | 基礎体育 | 1前・後 | | 1 | | | | | | | | | | | | | 18 |
| | 応用体育 | 2前・後 | | 1 | | | | | | | | | | | | | 16 |
| | 発展体育 | 3前・後 | | 1 | | | | | | | | | | | | | 15 |
| | English Reading Skills I | 1前 | | 1 | | | | ○ | | | | | | | | | 11 |
| | English Reading Skills II | 1後 | | 1 | | | | ○ | | | | | | | | | 11 |
| | English Presentation Skills I | 1前 | | 1 | | | | ○ | | | | | | | | | 10 |
| | English Presentation Skills II | 1後 | | 1 | | | | ○ | | | | | | | | | 10 |
| | 情報リテラシー（講義） | 1前 | ○ | 1 | | | ○ | | | 1 | 1 | | | | | | |
| | 情報リテラシー（演習） | 1前 | ○ | 1 | | | | | ○ | | 1 | | 1 | | | | |
| | データサイエンス | 1後 | | 2 | | | | | ○ | | 1 | | 1 | | | | |
| 小計（13科目） | | — | — | 13 | 1 | 0 | — | — | — | 5 | 4 | 0 | 5 | 0 | | 157 | |
| 専門基礎科目 | 数学リテラシー1 | 1前 | ○ | 1 | | | ○ | | | | 2 | | | | | | |
| | 数学リテラシー2 | 1前 | ○ | 1 | | | ○ | | | 1 | 1 | | | | | | |
| | 微積分1 | 1前 | ○ | 1 | | | ○ | | | 1 | 1 | | | | | | |
| | 微積分2 | 1後 | ○ | 1 | | | ○ | | | | 1 | | 1 | | | | |
| | 微積分3 | 1後 | ○ | 1 | | | ○ | | | | 1 | | 1 | | | | |
| | 線形代数1 | 1前 | ○ | 1 | | | ○ | | | | 1 | | 1 | | | | |
| | 線形代数2 | 1後 | ○ | 1 | | | ○ | | | | 1 | | 1 | | | | |
| | 線形代数3 | 1後 | ○ | 1 | | | ○ | | | | 2 | | | | | | |
| | 力学1 | 1前 | ○ | 1 | | | ○ | | | 1 | | | | | | 3 | メディア |
| | 力学2 | 1前 | ○ | 1 | | | ○ | | | | | | | | | 1 | メディア |
| | 力学3 | 1後 | ○ | 1 | | | ○ | | | | 1 | | | | | 1 | メディア |
| | 電磁気学1 | 1後 | ○ | 1 | | | ○ | | | | | 1 | | | | 1 | メディア |
| | 電磁気学2 | 1後 | ○ | 1 | | | ○ | | | | | | | | | 1 | メディア |
| | 電磁気学3 | 1後 | ○ | 1 | | | ○ | | | | | | | | | 1 | メディア |
| | 工学システム原論 | 2前 | ○ | 1 | | | ○ | | | 1 | | | | | | 2 | |
| | 線形代数総論A | 2前 | ○ | 1 | | | ○ | | | 2 | 1 | | | | | | ※演習／メディア |
| | 線形代数総論B | 2前後 | ○ | 2 | | | ○ | | | 2 | 1 | | | | | | ※演習／メディア |
| | 解析学総論 | 2前 | ○ | 1 | | | ○ | | | | 2 | | | | | | ※演習 |
| | 常微分方程式 | 2前 | ○ | 2 | | | ○ | | | 1 | | | 1 | | | | ※演習 |
| | 力学総論 | 2前 | ○ | 1 | | | ○ | | | | 2 | | | | | | ※演習 |
| | 電磁気学総論 | 2前 | ○ | 1 | | | ○ | | | 1 | | | 1 | | | | ※演習／メディア |
| | 材料力学基礎 | 2前 | ○ | 1 | | | ○ | | | 1 | | | | | | | ※演習 |
| | 熱力学基礎 | 2前 | ○ | 1 | | | ○ | | | | 1 | | | | | | |
| 流体力学基礎 | 2前 | ○ | 1 | | | ○ | | | | 1 | | | | | | | |
| 複素解析 | 2後 | ○ | 2 | | | ○ | | | | 1 | | 1 | | | 1 | ※演習 | |
| プログラミング序論A | 2前 | ○ | 2 | | | ○ | | | 1 | 1 | | 1 | | | | ※演習／メディア | |
| プログラミング序論B | 2前 | ○ | 1 | | | ○ | | | 1 | | | 1 | | | | ※演習／メディア | |
| 小計（27科目） | | — | — | 31 | 0 | 0 | — | — | — | 9 | 14 | 0 | 7 | 0 | | 10 | |
| 専門科目 | 科学技術倫理 | 2・3後 | ○ | | 1 | | ○ | | | | | | | | | 1 | 標準外 |
| | 知的財産と技術移転 | 2・3後 | ○ | | 1 | | ○ | | | 1 | | | | | | 1 | 標準外 |
| | 計測工学 | 3・4後 | ○ | | 2 | *A | ○ | | | 1 | 1 | | | | | | |
| | 機械設計 | 2後 | ○ | | 2 | *B | ○ | | | | 2 | | | | | | |
| | フィードバック制御 | 3・4前 | ○ | | 2 | *B | ○ | | | | | | 1 | | | 1 | |
| | 信頼性工学 | 3後 | ○ | | 2 | *B | ○ | | | 1 | | | | | | | |
| | 線形システム制御 | 3・4前 | ○ | | 2 | *B | ○ | | | 1 | | | | | | | |
| | バイオシステム基礎 | 2後 | ○ | | 2 | *C | ○ | | | 1 | 1 | | 1 | | | 2 | |
| | 材料学基礎 | 2前 | ○ | | 1 | *C | ○ | | | | | | 1 | | | | |
| | メカトロニクス機構解析 | 2後 | ○ | | 2 | *D | ○ | | | 2 | | | | | | | |
| | インターンシップ | 3通 | ○ | | 1 | *E | ○ | | | | 1 | | | | | | 標準外 |
| | 情報通信システム論I | 3・4前 | ○ | | 1 | *F | ○ | | | 1 | | | | | | 5 | 標準外 |
| 情報通信システム論II | 3・4後 | ○ | | 1 | *F | ○ | | | | 1 | | | | | 4 | 標準外 | |
| 研究・開発原論 | 3後 | ○ | | 2 | *F | ○ | | | | | | | | | 3 | | |

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 主要授業科目 | 単位数 | | | 授業形態 | | | 基幹教員等の配置 | | | | | 備考 | |
|------|---------------|--------|--------|-----|----|----|------|----|-------|----------|-----|----|----|----|----|-----------|
| | | | | 必修 | 選択 | 自由 | 講義 | 演習 | 実験・実習 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | | 基幹教員以外の教員 |
| | 電気回路 | 2後 | ○ | | 2 | *G | ○ | | | 1 | | | 1 | | | |
| | 確率統計 | 2前 | ○ | | 2 | *G | ○ | | | 1 | | | | | | |
| | 応用数学A | 2前後 | ○ | | 2 | *G | ○ | | | | 2 | | | | | |
| | 応用数学B | 2後 | ○ | | 1 | *H | ○ | | | | 1 | | 1 | | | |
| | 電子回路 | 3前 | ○ | | 2 | *H | ○ | | | | | | 1 | | | |
| | 論理回路 | 2後 | ○ | | 2 | *H | ○ | | | 1 | | | | | | メディア |
| | 離散数学 | 2後 | ○ | | 2 | *H | ○ | | | 1 | | | | | | ※演習 |
| | 数値解析 | 3後 | ○ | | 2 | *H | ○ | | | 1 | | | | 1 | | |
| | 知的情報処理 | 3後 | ○ | | 2 | *H | ○ | | | 1 | | | | | | |
| | デジタル信号処理 | 3前 | ○ | | 2 | *H | ○ | | | 1 | | | | | | |
| | システム最適化 | 3前 | ○ | | 2 | *H | ○ | | | 1 | | | | | | |
| | 画像処理 | 3後 | ○ | | 2 | *H | ○ | | | 1 | | | | | | |
| | ヒューマンインタフェース | 3前 | ○ | | 2 | *H | ○ | | | 1 | | | | | | |
| | 人工知能 | 3前 | ○ | | 2 | *H | ○ | | | 1 | | | | | | |
| | 情報理論 | 3後 | ○ | | 2 | *H | ○ | | | 1 | | | | | | |
| | システムダイナミクス | 3後 | ○ | | 2 | *H | ○ | | | 1 | | | | | | ※演習 |
| | 通信工学 | 3前 | ○ | | 2 | *H | ○ | | | | 1 | | | | | |
| | コンピュータとネットワーク | 2後 | ○ | | 2 | *H | ○ | | | 2 | | | 1 | | | |
| | データ構造とアルゴリズム | 3前 | ○ | | 2 | *H | ○ | | | 1 | | | | | | メディア |
| | メカトロニクス機能要素概論 | 3後 | ○ | | 2 | *H | ○ | | | 1 | 1 | | | | | |
| | パターン認識 | 3後 | ○ | | 2 | *H | ○ | | | | 1 | | | | | |
| | 応用プログラミング | 3後 | ○ | | 2 | *H | ○ | | | | 1 | | | | | ※演習/メディア |
| | 機械学習A | 3・4後 | ○ | | 1 | *H | ○ | | | | | | | | 1 | 標準外 |
| | 機械学習B | 3・4後 | ○ | | 1 | *H | ○ | | | | | | | | 1 | 標準外 |
| | ロボット工学 | 3前 | ○ | | 2 | *H | ○ | | | 1 | | | | | | |
| | 機器運動学 | 3前 | ○ | | 1 | *I | ○ | | | 1 | | | | | | |
| | コンクリート工学 | 3前 | ○ | | 2 | *J | ○ | | | 1 | | | | | | |
| | 応用材料学 | 2後 | ○ | | 1 | *J | ○ | | | | | | 1 | | | |
| | 電磁材料学 | 3後 | ○ | | 1 | *J | ○ | | | | | | | | 1 | メディア |
| | 複合材料学 | 3前 | ○ | | 2 | *J | ○ | | | | 1 | | | | | |
| | 産業技術論I | 3前 | ○ | | 1 | *K | ○ | | | | 1 | | | | 1 | 標準外 |
| | 産業技術論II | 3前 | ○ | | 1 | *K | ○ | | | 1 | | | | | 3 | 標準外 |
| | 設計計画論 | 3後 | ○ | | 1 | *K | ○ | | | 2 | | | | | 1 | |
| | 物理化学概論 | 2後 | ○ | | 1 | *L | ○ | | | | | | 1 | | | |
| | 熱工学 | 2後 | ○ | | 1 | *L | ○ | | | 1 | | | | | | メディア |
| | 応用熱力学 | 2後 | ○ | | 2 | *L | ○ | | | | 1 | | | | | |
| | 伝熱工学 | 3前 | ○ | | 2 | *L | ○ | | | | 1 | | | | | |
| | 気体力学 | 3後 | ○ | | 1 | *L | ○ | | | | 1 | | | | | |
| | 構造力学I | 2後 | ○ | | 2 | *L | ○ | | | | 1 | | | | | ※演習 |
| | パワーエレクトロニクス | 3前 | ○ | | 2 | *L | ○ | | | 1 | | | | | | |
| | 土質力学 | 3前 | ○ | | 2 | *L | ○ | | | 1 | | | | | | |
| | 応用材料力学I | 2後 | ○ | | 1 | *L | ○ | | | 1 | | | 1 | | | ※演習 |
| | 応用流体力学 | 2後 | ○ | | 2 | *L | ○ | | | | 1 | | | | | |
| | 応用材料力学II | 2後 | ○ | | 2 | *L | ○ | | | | 2 | | | | | ※演習 |
| | 振動工学 | 2後 | ○ | | 3 | *L | ○ | | | 1 | 2 | | | | | |
| | 構造力学II | 3後 | ○ | | 2 | *L | ○ | | | 1 | | | | | | |
| | 防災工学 | 3後 | ○ | | 2 | *L | ○ | | | 1 | 1 | | | | | |
| | 電力工学 | 3後 | ○ | | 2 | *L | ○ | | | 1 | | | | | | ※演習 |
| | 電磁力学 | 2後 | ○ | | 2 | *L | ○ | | | | 1 | | | | | |
| | 鉄筋コンクリート構造学 | 3後 | ○ | | 1 | *L | ○ | | | | 1 | | | | | |
| | 鋼構造学 | 3後 | ○ | | 1 | *L | ○ | | | | | | 1 | | | |
| | 地盤工学 | 3後 | ○ | | 1 | *L | ○ | | | 1 | | | | | | |
| | 流体工学 | 3前 | ○ | | 2 | *L | ○ | | | 1 | | | | | 1 | |
| | エネルギー機器学 | 3後 | ○ | | 2 | *L | ○ | | | 1 | 1 | | | | | |
| | 水素エネルギー工学 | 3後 | ○ | | 1 | *L | ○ | | | 1 | | | | | | |
| | 建築設計製図I | 3・4前 | ○ | | 3 | *L | ○ | ○ | | 1 | 2 | | | | | ※実験・実習 |
| | 燃焼工学 | 3後 | ○ | | 2 | *L | ○ | | | 1 | | | | | | メディア |
| | 建築設計製図II | 3・4後 | ○ | | 2 | *L | ○ | ○ | | 1 | 2 | | | | | ※実験・実習 |
| | 建築設計製図III | 3・4後 | ○ | | 2 | *L | ○ | ○ | | 1 | 2 | | | | | ※実験・実習 |
| | 建築設備 | 3・4後 | ○ | | 2 | *L | ○ | | | | | | | | 1 | |
| | 建築環境工学 | 2・3・4前 | ○ | | 2 | *L | ○ | | | | | | | | 1 | |

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 主要授業科目 | 単位数 | | | 授業形態 | | | 基幹教員等の配置 | | | | | 備考 | | | |
|--|-----------------|---------|--------|-----------|-----|----|------|----|-------------|----------|-----|-----|----|----|----|-----------|-------------------------|--|
| | | | | 必修 | 選択 | 自由 | 講義 | 演習 | 実験・実習 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | | 基幹教員以外の教員 | | |
| | 環境リモートセンシング | 3後 | ○ | | 1 | | ○ | | | 1 | | | | | | 2 | | |
| | 地圏気圏の環境論 | 3後 | ○ | | 1 | | ○ | | | 1 | | | | | | | | |
| | 水環境論 | 3前 | ○ | | 2 | | ○ | | | | | | | | | 1 | | |
| | エネルギー学入門 | 3前 | ○ | | 2 | | ○ | | | | | | 1 | | | | | |
| | 宇宙工学 | 1・2後 | ○ | | 1 | | ○ | | | 2 | 1 | | | | | 7 | | |
| | コンテンツ工学システム | 1・2・3前 | ○ | | 1 | | | ○ | | 4 | 1 | | | | | | | |
| | 工学システム概論 | 1前 | ○ | | 1 | | ○ | | | 1 | | | | | | | メディア | |
| | アカデミック・インターンシップ | 3通 | ○ | | 1 | | | ○ | | | 1 | | | | | | 標準外 | |
| | 研究者体験 | 1・2・3通 | ○ | | 1 | | | ○ | | 1 | | | | | | 8 | ※講義, 実験・実習 / 標準外 / メディア | |
| | 宇宙開発工学演習 | 2・3通 | ○ | | 2 | | | ○ | | | 1 | | | | | | ※実験・実習 / 標準外 | |
| | プログラミング序論C | 2後 | ○ | | 2 | *1 | ○ | | | 1 | 1 | | 1 | | | | ※演習 / メディア | |
| | プログラミング序論D | 2後 | ○ | | 1 | *1 | ○ | | | 1 | | | | | | | ※演習 | |
| | 知的・機能工学システム実験 | 3通 | ○ | | 6 | *1 | | ○ | | 6 | 1 | | 3 | | | 2 | | |
| | 数値計算法 | 2後 | ○ | | 3 | *2 | ○ | | | 1 | 1 | | 1 | | | | ※演習 | |
| | エネルギー・メカニクス専門実験 | 3前 | ○ | | 3 | *2 | | ○ | | 4 | 5 | | 2 | | | 1 | | |
| | エネルギー・メカニクス応用実験 | 3後 | ○ | | 3 | *2 | | ○ | | 1 | 2 | | 2 | | | 1 | | |
| | 工学者のための倫理 | 4前 | ○ | 1 | | | ○ | | | | 1 | | 1 | | | 1 | | |
| | 専門英語A | 2前 | ○ | 1 | | | | ○ | | 1 | | | 2 | | | | | |
| | 専門英語B | 2後 | ○ | 1 | | | | ○ | | 2 | 1 | | 1 | | | | | |
| | 専門英語演習 | 3前 | ○ | 1 | | | | ○ | | 1 | 1 | | 1 | | | | | |
| | 工学システム基礎実験A | 2前 | ○ | 2 | | | | ○ | | 8 | 5 | | 7 | | | | | |
| | 工学システム基礎実験B | 2後 | ○ | 2 | | | | ○ | | 8 | 5 | | 7 | | | | | |
| | 卒業研究A | 4前 | ○ | 4 | | | | ○ | | 28 | 25 | | 20 | | | | 標準外 | |
| | 卒業研究B | 4後 | ○ | 4 | | | | ○ | | 28 | 25 | | 20 | | | | 標準外 | |
| | 特別卒業研究A | 3前 | ○ | | 4 | | | ○ | | 28 | 25 | | 20 | | | | 標準外 | |
| | 特別卒業研究B | 3後 | ○ | | 4 | | | ○ | | 28 | 25 | | 20 | | | | 標準外 | |
| | 小計 (101科目) | — | — | 16 | 168 | 0 | — | — | — | 28 | 25 | 0 | 20 | 0 | 41 | | | |
| その他 | 解析学(微積分)基礎 | 1休 | | | | 1 | ○ | | | | | | | | | 1 | ※演習 / 標準外 | |
| | 線形代数基礎 | 1休 | | | | 1 | ○ | | | | | | | | | 1 | ※演習 / 標準外 | |
| | 小計 (2科目) | — | — | 0 | 0 | 2 | — | — | — | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | | | |
| 合計 (143科目) | | | | — | — | 60 | 169 | 2 | — | — | 28 | 25 | 0 | 20 | 0 | 205 | | |
| 学位又は称号 | | 学士 (工学) | | 学位又は学科の分野 | | | 工学関係 | | | | | | | | | | | |
| 卒業・修了要件及び履修方法 | | | | | | | | | 授業期間等 | | | | | | | | | |
| 次の履修方法により合計125単位を修得すること。 1. 基礎科目 (1) 共通科目 必修13単位 選択1-10単位 (学士基盤科目1単位のほか学類長が指定する科目から選択) (2) 関連科目 選択6-15単位 (学類長が指定する科目から選択) 2. 専門基礎科目 必修31単位 3. 専門科目 必修16単位、選択必修9単位、選択40-49単位 (知的・機能工学システム主専攻) 必修16単位 選択必修9単位 (*1) 選択40-49単位 (*A・*B: 6単位以上、*C・*D: 1単位以上、*E・*F: 1単位以上、*G・*H: 16単位以上、本表に掲げる選択科目のほか学類長が指定する科目から選択可) (エネルギー・メカニクス主専攻) 必修16単位 選択必修9単位 (*2) 選択40-49単位 (*A・*I: 1単位以上、*C・*J: 1単位以上、*E・*K: 1単位以上、*G・*L: 23単位以上、本表に掲げる選択科目のほか学類長が指定する科目から選択可) (履修科目の登録の上限: 45単位 (年間)) | | | | | | | | | 1学年の学期区分 | | | 2期 | | | | | | |
| | | | | | | | | | 1学期の授業期間 | | | 15週 | | | | | | |
| | | | | | | | | | 1時限の授業の標準時間 | | | 75分 | | | | | | |

| 教 育 課 程 等 の 概 要 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----------------|-------------------------------|--------------------------------|--------|-----|------|----|------|----|-------|----------|-----|----|----|----|----|-----------|--------------------|------|
| (情報学群 情報科学類) | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 主要授業科目 | 単位数 | | | 授業形態 | | | 基幹教員等の配置 | | | | | 備考 | | | |
| | | | | 必修 | 選択 | 自由 | 講義 | 演習 | 実験・実習 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | | 基幹教員以外の教員 | | |
| 基礎科目 (共通科目) | 総合科目 | ファーストイヤーセミナー | 1前 | | 1 | | | | ○ | | | 2 | | 2 | | | | |
| | | 学問への誘い | 1前 | | 1 | | | ○ | | | | 2 | | 2 | | | | |
| | | 学士基盤科目 | 1前・後 | | | 1 | | | ○ | | | | | | | | 105 | |
| | 体育 | 基礎体育 | 1前・後 | | 1 | | | | | ○ | | | | | | | | 18 |
| | | 応用体育 | 2前・後 | | 1 | | | | | ○ | | | | | | | | 14 |
| | 外国語 | English Reading Skills I | 1前 | | 1 | | | | | ○ | | | | | | | | 11 |
| | | English Reading Skills II | 1後 | | 1 | | | | | ○ | | | | | | | | 11 |
| | | English Presentation Skills I | 1前 | | 1 | | | | | ○ | | | | | | | | 11 |
| | | English Presentation Skills II | 1後 | | 1 | | | | | ○ | | | | | | | | 11 |
| | 情報 | 情報リテラシー (講義) | 1前 | | 1 | | | | ○ | | | | | | 1 | | | |
| | | 情報リテラシー (演習) | 1前 | | 1 | | | | | ○ | | | | | 2 | | | |
| | | データサイエンス | 1後 | | 2 | | | | | ○ | | 1 | | | 1 | | | |
| | 小計 (12科目) | — | — | 12 | 1 | 0 | | — | | | 1 | 2 | 0 | 6 | 0 | | 149 | |
| 専門基礎科目 | 線形代数A | 1前 | ○ | 2 | | | | ○ | | | 1 | | 1 | 1 | | | 1 | |
| | 線形代数B | 2前 | ○ | 2 | | | | ○ | | | 1 | 1 | | 1 | | | ※演習 | |
| | 微分積分A | 1後 | ○ | 2 | | | | ○ | | | 1 | 2 | | 1 | | | | |
| | 微分積分B | 2前 | ○ | 2 | | | | ○ | | | | | | 2 | | | ※演習 | |
| | 情報数学A | 1前 | ○ | 2 | | | | ○ | | | 1 | 2 | | | | | | |
| | 専門英語基礎 | 2後 | ○ | 1 | | | | ○ | | | | 1 | | | | | 1 | |
| | プログラミング入門A | 1後 | ○ | 2 | | | | | ○ | | | 1 | | 2 | | | | |
| | プログラミング入門B | 1後 | ○ | 1 | | | | | ○ | | | 1 | | 2 | | | | |
| | コンピュータとプログラミング | 2前 | ○ | 3 | | | | ○ | | | | 2 | | | | | ※演習 | |
| | データ構造とアルゴリズム | 2後 | ○ | 3 | | | | ○ | | | 1 | 1 | | 1 | | | | |
| | データ構造とアルゴリズム実験 | 2後 | ○ | 2 | | | | | | ○ | 1 | | | 1 | | | ※演習 | |
| | 論理回路 | 2前 | ○ | 2 | | | | | | | 1 | | | 1 | | | ※演習 | |
| | 論理回路演習 | 2後 | ○ | 2 | | | | | | ○ | | 1 | 1 | 1 | 1 | | ※講義, 実験・実習 メディア | |
| | 確率論 | 2前 | ○ | | 2 | *1 | | ○ | | | | | 1 | | 1 | | | |
| | 統計学 | 2後 | ○ | | 2 | *1 | | ○ | | | | 1 | | | | | | |
| | 数値計算法 | 2前 | ○ | | 2 | *1 | | ○ | | | 1 | 2 | | | | | | |
| | 論理と形式化 | 2前 | ○ | | 2 | *1 | | ○ | | | | 1 | | 1 | | | | |
| | 論理システム | 2前 | ○ | | 1 | *1 | | ○ | | | | 1 | | 1 | | | メディア | |
| | 論理システム演習 | 2前 | ○ | | 1 | *1 | | | ○ | | | 1 | | 1 | | | メディア | |
| | Computer Science in English A | 3前 | ○ | | 2 | *2 | | ○ | | | | 1 | | 1 | | | ※演習/メディア | |
| | Computer Science in English B | 3後 | ○ | | 2 | *2 | | ○ | | | | | | 2 | | | ※演習 | |
| | 情報社会と法制度 | 2後 | | | 2 | *3 | | ○ | | | | | | | | | 1 | メディア |
| | 知的財産概論 | 2後 | | | 2 | *3 | | ○ | | | | | | | | | 1 | メディア |
| | 知能と情報科学 | 1前 | | | 1 | *3 | | ○ | | | 3 | 5 | | | | | 3 | メディア |
| | 計算と情報科学 | 1前 | | | 1 | *3 | | ○ | | | 2 | 4 | | 4 | | | | メディア |
| | システムと情報科学 | 1後 | | | 1 | *3 | | ○ | | | | 5 | | | | | | メディア |
| | 情報科学概論 | 1前 | | | 1 | *3 | | ○ | | | 6 | | | 2 | | | | メディア |
| | 情報メディア入門 | 1前 | | | 1 | *3 | | ○ | | | | | | | | | 2 | メディア |
| | コンテンツ入門 | 1後 | | | 2 | *3 | | ○ | | | | | | | | | 4 | メディア |
| | 知識情報概論 | 1前・後 | | | 1 | *3 | | ○ | | | | | | | | | 1 | メディア |
| | 知識情報システム概説 | 1前 | | | 1 | *3 | | ○ | | | | | | | | | 4 | メディア |
| | 図書館概論 | 1後 | | | 2 | *3 | | ○ | | | | | | | | | 1 | メディア |
| | 微分方程式 | 2後 | | | 2 | *4 | | ○ | | | 1 | | | | | | | ※演習 |
| | 電磁気学 | 2後 | | | 2 | *4 | | ○ | | | 1 | | | | | | | ※演習 |
| 電気回路 | 2後 | | | 2 | *4 | | ○ | | | | 1 | | | | | | | |
| システム制御概論 | 2後 | | | 2 | *4 | | ○ | | | 1 | | | 1 | | | | | |
| オブジェクト指向プログラミング | 2後 | | | 2 | *4 | | ○ | | | | 1 | | | | | | ※演習 | |
| 論理システム実験 | 3・4後 | | | 1.5 | *4 | | | | ○ | | 1 | | 1 | | | | ※演習/標準外 | |
| コンピュータグラフィックス基礎 | 2後 | | | 2 | *4 | | ○ | | | 1 | | | 1 | | | 1 | ※演習 | |
| インターンシップI | 2・3・4通 | | | 1 | *4 | | | | ○ | | | 3 | | 1 | | | 標準外 | |
| インターンシップII | 2・3・4通 | | | 1 | *4 | | | | ○ | | | 3 | | 1 | | | 標準外 | |
| 海外インターンシップ | 2・3・4通 | | | 2 | *4 | | | | ○ | 1 | | | | | | | 標準外 | |
| | 小計 (42科目) | — | — | 26 | 46.5 | 0 | | — | | | 13 | 19 | 2 | 16 | 0 | | 19 | |

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年度 | 主要授業科目 | 単位数 | | | 授業形態 | | | 基幹教員等の配置 | | | | | 備考 | | |
|------------------|-------------------|------|--------|-----|----|----|------|----|-------|----------|-----|----|----|----|----|----------------------|------|
| | | | | 必修 | 選択 | 自由 | 講義 | 演習 | 実験・実習 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | | 基幹教員以外の教員 (助手を除く) | |
| 専門科目 | 数理アルゴリズムとシミュレーション | 3・4後 | ○ | | 2 | *A | ○ | | | 1 | 1 | | 1 | | | | |
| | 人工知能 | 3・4後 | ○ | | 2 | *A | ○ | | | 1 | | 1 | 1 | | | | |
| | オートマトンと形式言語 | 3・4後 | ○ | | 2 | *A | ○ | | | 1 | | | 1 | | | | |
| | プログラム理論 | 3・4前 | ○ | | 1 | *A | ○ | | | | | | 1 | | | | |
| | プログラミングチャレンジ | 3・4前 | ○ | | 2 | *A | | ○ | | 1 | | | | 1 | | | メディア |
| | コンピュータネットワーク | 2前 | ○ | | 2 | *A | ○ | | | | 1 | | | | | | 2 |
| | 計算機アーキテクチャ | 3・4前 | ○ | | 2 | *A | ○ | | | | 1 | | | | 1 | | 1 |
| | データベース概論A | 3・4前 | ○ | | 2 | *A | ○ | | | 1 | | | | | 1 | | |
| | オペレーティングシステム | 3・4後 | ○ | | 2 | *A | ○ | | | | | 1 | | | | | 1 |
| | プログラム言語処理 | 3・4後 | ○ | | 2 | *A | ○ | | | | | 1 | | | | | ※演習 |
| | ソフトウェア工学 | 3・4後 | ○ | | 2 | *A | ○ | | | | | | | 1 | | | |
| | 情報セキュリティ | 3・4前 | ○ | | 2 | *A | ○ | | | 1 | 1 | | | 1 | | | |
| | ヒューマンインタフェース | 3・4前 | ○ | | 2 | *A | ○ | | | | | 1 | | | | | 1 |
| | 信号処理 | 3・4前 | ○ | | 2 | *A | ○ | | | | | | 1 | | | | 2 |
| | 機械学習 | 3・4前 | ○ | | 2 | *A | ○ | | | | | 1 | | | | | |
| | 情報理論 | 3・4後 | ○ | | 2 | *A | ○ | | | 1 | | | | | | | |
| | アドバンスドCG | 3・4後 | | | 2 | | ○ | | | | | | | 1 | | | 2 |
| | 情報科学特別演習 | 1通 | ○ | | 2 | | | | ○ | | | | | 2 | | | 1 |
| | 情報特別演習I | 2通 | ○ | | 2 | | | | ○ | | | | | 2 | | | 1 |
| | 情報特別演習II | 3通 | ○ | | 2 | | | | ○ | | | | | 2 | | | 1 |
| | 体験型システム開発A | 3・4前 | | | 3 | | | | ○ | | | | | | | | 1 |
| | 体験型システム開発B | 3・4後 | | | 3 | | | | ○ | | | | | | | | 1 |
| | ビジネスシステムデザイン基礎I | 1・2休 | | | 2 | | | | ○ | | | | | 1 | | | 1 |
| | ビジネスシステムデザイン実践I | 1・2後 | | | 2 | | | | ○ | | | | | 1 | | | 1 |
| | ビジネスシステムデザイン基礎II | 3・4休 | | | 2 | | | | ○ | | | | | 1 | | | 1 |
| | ビジネスシステムデザイン実践II | 3・4後 | | | 3 | | | | ○ | | | | | 1 | | | 1 |
| | プログラム言語論 | 3・4前 | | | 1 | | | ○ | | | 1 | | | | | | |
| | システム数理I | 3・4前 | | | 1 | | | ○ | | | | 1 | | | | | 2 |
| | システム数理II | 3・4前 | | | 1 | | | ○ | | | | | | | | | 2 |
| | システム数理III | 3・4前 | | | 1 | | | ○ | | | | | | | | | 2 |
| | インタラクティブCG | 3・4前 | | | 2 | | | ○ | | | | | | | | | 1 |
| | 情報線形代数 | 3・4後 | | | 2 | | | ○ | | | | | | | | | 1 |
| | 情報可視化 | 3・4前 | | | 2 | | | ○ | | | | | | | | | 1 |
| | 並列処理アーキテクチャI | 3・4前 | | | 1 | | | ○ | | | | | 1 | 1 | | | |
| | 並列処理アーキテクチャII | 3・4後 | | | 1 | | | ○ | | | | | 1 | | | | |
| | VLSI工学 | 3・4前 | | | 2 | | | ○ | | | 1 | | | 1 | | | |
| | システムプログラム | 3・4前 | | | 2 | | | ○ | | | | 2 | | | | | |
| | データベース概論B | 3・4後 | | | 1 | | | ○ | | | 1 | 1 | | | | | |
| | 情報検索概論 | 3・4後 | | | 2 | | | ○ | | | | 1 | | 1 | | | |
| | オペレーティングシステムII | 3・4後 | | | 1 | | | ○ | | | | 1 | | | | | |
| | 分散システム | 3・4後 | | | 1 | | | ○ | | | 1 | 1 | | | | | |
| | 電子回路 | 3・4前 | | | 2 | | | ○ | | | | 1 | | | | | |
| | 人工生命概論 | 3・4後 | | | 1 | | | ○ | | | | | | | | | 1 |
| | 音声聴覚情報処理 | 3・4前 | | | 1 | | | ○ | | | | 1 | | | | | メディア |
| | 自然言語処理 | 3・4前 | | | 1 | | | ○ | | | | | | | | | 1 |
| | 視覚情報科学 | 3・4前 | | | 2 | | | ○ | | | | | | | | | 1 |
| | 画像メディア工学 | 3・4後 | | | 2 | | | ○ | | | 1 | | | | | | |
| 画像認識工学 | 3・4前 | | | 2 | | | ○ | | | 1 | | | | | | メディア | |
| ソフトウェアサイエンス実験A | 3前 | ○ | | 3 | *5 | | | ○ | | 3 | 5 | 1 | 6 | | | 7 | |
| ソフトウェアサイエンス実験B | 3後 | ○ | | 3 | *5 | | | ○ | | 3 | 5 | 1 | 7 | | | 7 | |
| 情報システム実験A | 3前 | ○ | | 3 | *6 | | | ○ | | 6 | 10 | 1 | 8 | | | 3 | |
| 情報システム実験B | 3後 | ○ | | 3 | *6 | | | ○ | | 6 | 10 | 1 | 8 | | | 3 | |
| 知能情報メディア実験A | 3前 | ○ | | 3 | *7 | | | ○ | | 6 | 5 | | 4 | | | 10 | |
| 知能情報メディア実験B | 3後 | ○ | | 3 | *7 | | | ○ | | 6 | 5 | | 4 | | | 10 | |
| ソフトウェアサイエンス特別講義A | 3・4通 | | | 1 | | | ○ | | | 1 | | | | | | 1 | |
| 情報システム特別講義A | 3・4後 | | | 1 | | | ○ | | | | 1 | | | | | 1 | |
| 情報システム特別講義B | 3・4前 | | | 1 | | | ○ | | | | 1 | | | | | 1 | |
| 知能情報メディア特別講義A | 3・4休 | | | 1 | | | ○ | | | | | | | | | 5 | |
| 専門語学A | 4前 | ○ | 2 | | | | ○ | | | 15 | 22 | 2 | 18 | | | 標準外 | |
| 専門語学B | 4後 | ○ | 2 | | | | ○ | | | 15 | 22 | 2 | 18 | | | 標準外 | |
| 卒業研究A | 4前 | ○ | 3 | | | | | ○ | | 15 | 22 | 2 | 18 | | | 標準外 | |

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 主要授業科目 | 単位数 | | | 授業形態 | | | 基幹教員等の配置 | | | | | | 備考 |
|---|------------------------|------|--------|-----------|-------|----|------|------|-------|-------------|-----|----|-----|----|-----------|-----|
| | | | | 必修 | 選択 | 自由 | 講義 | 演習 | 実験・実習 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | 基幹教員以外の教員 | |
| | 卒業研究B | 4後 | ○ | 3 | | | | ○ | | 15 | 22 | 2 | 18 | | | 標準外 |
| | 特別専門語学A | 3・4前 | ○ | | 2 | | | ○ | | 15 | 22 | 2 | 18 | | | 標準外 |
| | 特別専門語学B | 3・4後 | ○ | | 2 | | | ○ | | 15 | 22 | 2 | 18 | | | 標準外 |
| | 特別卒業研究A | 3・4前 | ○ | | 3 | | | ○ | | 15 | 22 | 2 | 18 | | | 標準外 |
| | 特別卒業研究B | 3・4後 | ○ | | 3 | | | ○ | | 15 | 22 | 2 | 18 | | | 標準外 |
| | 特別研究A | 3・4前 | | | 4 | | | ○ | | | | | 1 | | | 標準外 |
| | 特別研究B | 3・4後 | | | 4 | | | ○ | | | | | 1 | | | 標準外 |
| | 小計 (68科目) | — | — | 10 | 126 | 0 | | — | | 15 | 22 | 2 | 18 | 0 | 36 | |
| 合計 (122科目) | | — | — | 48 | 173.5 | 0 | | — | | 15 | 22 | 2 | 18 | 0 | 198 | |
| 学位又は称号 | 学士 (情報科学) 学士 (情報工学) | | | 学位又は学科の分野 | | | | 工学関係 | | | | | | | | |
| 卒業・修了要件及び履修方法 | | | | | | | | | | 授業期間等 | | | | | | |
| 次の履修方法により合計125単位を修得すること。 1. 基礎科目 (1) 共通科目 必修12単位 選択1-5単位 (学士基盤科目1単位のほか学類長が指定する科目から選択) (2) 関連科目 選択6-10単位 (学類長が指定する科目から選択) 2. 専門基礎科目 必修26単位 選択必修26単位 (*1: 8単位以上、*2: 2単位以上、*3: 8単位以上、*4: 4単位以上) 3. 専門科目 (ソフトウェアサイエンス主専攻) 必修10単位 選択必修6単位 (*5) 選択34単位 (*A: 16単位以上を含む) (情報システム主専攻) 必修10単位 選択必修6単位 (*6) 選択34単位 (*A: 16単位以上を含む) (知能情報メディア主専攻) 必修10単位 選択必修6単位 (*7) 選択34単位 (*A: 16単位以上を含む) (履修科目の登録の上限: 45単位 (年間)) | | | | | | | | | | 1学年の学期区分 | | | 2期 | | | |
| | | | | | | | | | | 1学期の授業期間 | | | 15週 | | | |
| | | | | | | | | | | 1時限の授業の標準時間 | | | 75分 | | | |

| 教 育 課 程 等 の 概 要 | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------------------|--------------------------------|--------|--------|-----|----|----|------|----|-------|----------|-----|----|----|-----|-----|
| (情報学群 情報メディア創成学類) | | | | | | | | | | | | | | | |
| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 主要授業科目 | 単位数 | | | 授業形態 | | | 基幹教員等の配置 | | | | | 備考 |
| | | | | 必修 | 選択 | 自由 | 講義 | 演習 | 実験・実習 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | |
| 基礎科目 (共通科目) | ファーストイヤーセミナー | 1前 | | 1 | | | | ○ | | 1 | 2 | | | | |
| | 学問への誘い | 1前 | | 1 | | | ○ | | | 1 | 1 | | | | |
| | 学士基盤科目 | 1前・後 | | | 1 | | ○ | | | | | | | | 105 |
| | 基礎体育 | 1前・後 | | 1 | | | | ○ | | | | | | | 20 |
| | 応用体育 | 2前・後 | | 1 | | | | ○ | | | | | | | 16 |
| | English Reading Skills I | 1前 | | 1 | | | | ○ | | | | | | | 11 |
| | English Reading Skills II | 1後 | | 1 | | | | ○ | | | | | | | 11 |
| | English Presentation Skills I | 1前 | | 1 | | | | ○ | | | | | | | 11 |
| | English Presentation Skills II | 1後 | | 1 | | | | ○ | | | | | | | 11 |
| | 情報リテラシー (講義) | 1前 | | 1 | | | ○ | | | | | | | | 1 |
| | 情報リテラシー (演習) | 1前 | | 1 | | | | ○ | | 1 | | | | | |
| | データサイエンス | 1後 | | 2 | | | | ○ | | 1 | | | | | |
| 小計 (12科目) | — | — | — | 12 | 1 | 0 | — | — | 3 | 2 | 0 | 0 | 0 | 157 | |
| 専門基礎科目 | 微分積分A | 1後 | | 2 | | | | ○ | | 1 | | | | | |
| | 微分積分B | 2前 | | 2 | | | | ○ | | | 1 | | | | |
| | 線形代数A | 1前 | | 2 | | | | ○ | | 1 | | | | | |
| | 線形代数B | 2前 | | 2 | | | | ○ | | 1 | | | | | |
| | 情報数学A | 1前 | | 2 | | | | ○ | | | 1 | | | | |
| | 確率と統計 | 2前 | | 2 | | | | ○ | | 1 | | | | | |
| | プログラミング入門A | 1後 | | 2 | | | | ○ | | 1 | | | 1 | | |
| | プログラミング入門B | 1後 | | 1 | | | | ○ | | 1 | | | 1 | | |
| | プログラミング | 2前 | | 2 | | | | ○ | | | 1 | | | | |
| | コンピュータシステムとOS | 2前 | | 2 | | | | ○ | | | 1 | | | | |
| | データ構造とアルゴリズム | 2後 | | 2 | | | | ○ | | | 2 | | | | |
| | データ構造とアルゴリズム実習 | 2後 | | 1 | | | | | ○ | | 2 | | | | |
| | データ工学概論 | 2前 | | 2 | | | | | ○ | 1 | | | | | |
| | 情報社会と法制度 | 2後 | | | 2 | | | | ○ | | | | | | 1 |
| | 知的財産概論 | 2後 | | | 2 | | | | ○ | | | | | | 1 |
| | 知能と情報科学 | 1前 | | | 1 | | | | ○ | | | | | | 11 |
| | 計算と情報科学 | 1前 | | | 1 | | | | ○ | | | | | | 10 |
| | システムと情報科学 | 1後 | | | 1 | | | | ○ | | | | | | 5 |
| | 情報科学概論 | 1前 | | | 1 | | | | ○ | | | | | | 8 |
| | 情報メディア入門 | 1前 | | | 1 | | | | ○ | 1 | 1 | | | | |
| | コンテンツ入門 | 1後 | | | 2 | | | | ○ | 1 | 2 | | 1 | | |
| | 知識情報概論 | 1前・後 | | | 1 | | | | ○ | | | | | | 1 |
| | 知識情報システム概説 | 1前 | | | 1 | | | | ○ | | | | | | 4 |
| | 図書館概論 | 1後 | | | 2 | | | | ○ | | | | | | 1 |
| | メディア社会学 | 2前 | | | 2 | | | | ○ | | | | | | 1 |
| | 統計分析法 | 2後 | | | 2 | | | | ○ | 1 | | | | | |
| | 情報数学B | 2後 | | | 2 | | | | ○ | 1 | | | | | |
| | 情報数学C | 2・3・4後 | | | 2 | | | | ○ | | 1 | | | | |
| | Webプログラミング | 2後 | | | 2 | | | | ○ | | | 1 | | | |
| | プログラム言語論 | 3・4前 | | | 2 | | | | ○ | 1 | | | 1 | | |
| | 信号とシステム | 2後 | | | 2 | | | | ○ | | 1 | | | | |
| | 情報理論 | 2後 | | | 2 | | | | ○ | 1 | | | | | |
| CG基礎 | 2後 | | | 2 | | | | ○ | | 1 | | | | 2 | |
| パターン認識 | 3・4前 | | | 2 | | | | ○ | | 1 | | | | | |
| 画像・映像情報処理 | 3・4後 | | | 2 | | | | ○ | 1 | 1 | | | | | |
| 音声・音響学基礎 | 3・4前 | | | 2 | | | | ○ | | 1 | | | | | |
| 情報デザインI | 2後 | | | 2 | | | | ○ | | 1 | | | | | |
| コンテンツ概論 | 2前 | | | 2 | | | | ○ | | | | | | 1 | |
| コンテンツ流通基盤概論 | 2後 | | | 2 | | | | ○ | | | 1 | 1 | | | |
| コンピュータネットワーク | 2前 | | | 2 | | | | ○ | | 2 | | | | 1 | |
| 人間計測の方法 | 2後 | | | 1 | | | | ○ | 1 | | | | | | |
| 認知科学 | 2前 | | | 2 | | | | ○ | 1 | | | 1 | | | |
| 情報メディア特別演習I | 1通 | | | 2 | | | | ○ | | 2 | | | | | |

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 主要授業科目 | 単位数 | | | 授業形態 | | | 基幹教員等の配置 | | | | | | 備考 | |
|------------|--|----------|--------|-----|----|----|------|----|-------|----------|-----|----|----|----|-----------|-----|------|
| | | | | 必修 | 選択 | 自由 | 講義 | 演習 | 実験・実習 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | 基幹教員以外の教員 | | |
| | 情報メディア特別演習II | 2通 | | | 2 | | | ○ | | | 2 | | | | | | 標準外 |
| | ACPC連携講座：ライブ・コンテンツ論 | 2・3・4前 | | | 2 | | ○ | | | 1 | | | 1 | | | | メディア |
| | 映像メディア概論 | 2後 | | | 2 | | ○ | | | | | | | | 1 | | |
| | ハイブリッドアート演習 | 3・4後 | | | 3 | | | ○ | | | | | | | 1 | | |
| | 小計 (47科目) | — | — | 24 | 61 | 0 | — | — | — | 11 | 13 | 1 | 4 | 0 | 47 | | |
| 専門科目 | ビジネスシステムデザイン基礎I | 1・2休 | | | 2 | | | | ○ | | | | | | 1 | | 標準外 |
| | ビジネスシステムデザイン実践I | 1・2後 | | | 2 | | | | ○ | | | | | | 1 | | 標準外 |
| | ビジネスシステムデザイン基礎II | 3・4休 | | | 2 | | | | ○ | | | | | | 1 | | 標準外 |
| | ビジネスシステムデザイン実践II | 3・4後 | | | 3 | | | | ○ | | | | | | 1 | | |
| | オートマトンと形式言語 | 3・4後 | | | 2 | | ○ | | | | | | | | 1 | | |
| | 通信ネットワーク | 3・4後 | ○ | | 2 | | ○ | | | | 2 | | | | | | |
| | インタラクティブCG | 3・4前 | ○ | | 2 | | ○ | | | | | | | | | 1 | |
| | 音楽・音響情報処理 | 3・4後 | ○ | | 2 | | ○ | | | | | | 1 | | | | |
| | 実世界指向システム | 3・4後 | ○ | | 2 | | ○ | | | 1 | | | | | | | |
| | マークアップ言語 | 3・4前 | ○ | | 2 | | ○ | | | | | 1 | | | | | |
| | データベースシステムI | 3・4前 | ○ | | 2 | | ○ | | | | 1 | | | | | | |
| | データベースシステムII | 3・4後 | ○ | | 2 | | ○ | | | 1 | 1 | | | | | | |
| | 先端技術とメディア表現 | 3・4前 | ○ | | 1 | | ○ | | | | 1 | | | 1 | | | |
| | コンテンツプロデュース論 | 3・4後 | ○ | | 1 | | ○ | | | | | | | | | 1 | |
| | ソフトウェア構成 | 3・4前 | | | 2 | | ○ | | | | | 1 | | | | | |
| | 情報デザインII | 3・4前 | ○ | | 1 | | ○ | | | | | 1 | | | | | |
| | インタラクションデザイン | 3・4前 | ○ | | 2 | | ○ | | | 1 | | | | | | | |
| | デジタルコンテンツ表現実習 | 3・4後 | ○ | | 1 | | | | ○ | | 1 | | | 1 | | | |
| | デジタルドキュメント | 3・4後 | | | 2 | | ○ | | | | | | | | | 1 | |
| | エンタテインメントコンピューティング演習 | 3・4通 | ○ | | 2 | | | ○ | | | | | | | | 1 | 標準外 |
| | 視覚情報科学 | 3・4前 | ○ | | 2 | | ○ | | | | 1 | | | | | | |
| | システム数理I | 3・4前 | ○ | | 1 | | ○ | | | | 1 | 1 | | | | 1 | |
| | システム数理II | 3・4前 | ○ | | 1 | | ○ | | | | 1 | 1 | | | | | |
| | 知識・自然言語処理 | 3・4前 | ○ | | 1 | | ○ | | | | 1 | | | | | | |
| | 情報可視化 | 3・4前 | ○ | | 2 | | ○ | | | | 1 | | | | | | メディア |
| | システム数理III | 3・4前 | ○ | | 1 | | ○ | | | | 1 | 1 | | | | | |
| | 情報数学D | 3・4後 | ○ | | 2 | | ○ | | | | 1 | | | | | | |
| | 知覚心理学 | 3・4後 | ○ | | 1 | | ○ | | | | 1 | | | | | | |
| | 数式処理システム論 | 3・4後 | ○ | | 2 | | ○ | | | | 1 | | | | | | |
| | アドバンストCG | 3・4後 | ○ | | 2 | | ○ | | | | | 2 | | | | 1 | ※演習 |
| | 海外特別演習I | 1・2・3・4通 | ○ | | 1 | | | ○ | | | | | | 1 | | | 標準外 |
| | 海外特別演習II | 1・2・3・4通 | ○ | | 1 | | | ○ | | | | | | 1 | | | 標準外 |
| | Human Information Interaction | 3・4後 | | | 2 | | ○ | | | | | | | | | 1 | |
| | Machine Learning and Information Retrieval | 3・4後 | | | 2 | | ○ | | | | | | | | | 1 | |
| | Human-computer Interaction | 3・4後 | | | 2 | | ○ | | | | | | | | | 1 | |
| | 情報メディア創成特別講義B | 2・3・4休 | ○ | | 1 | | ○ | | | | | 1 | | | | 1 | 標準外 |
| | 情報メディア創成特別講義C | 1・2・3・4休 | | | 1 | | ○ | | | | | | | | | 5 | 標準外 |
| | 情報メディア創成特別講義G | 2・3後 | | | 1 | | | ○ | | | | | | | | 1 | 標準外 |
| | 情報メディア創成特別講義H | 2・3・4後 | ○ | | 1 | | | ○ | | | | 1 | | | | 1 | 標準外 |
| | 情報メディア実験A | 3前 | ○ | 3 | | | | | ○ | | 1 | | 1 | | | | |
| 情報メディア実験B | 3後 | ○ | 3 | | | | | ○ | | 1 | | 1 | | | | | |
| 専門英語A | 4前 | ○ | 1 | | | | | ○ | | 13 | 13 | 1 | 5 | | | 標準外 | |
| 専門英語B | 4後 | ○ | 1 | | | | | ○ | | 13 | 13 | 1 | 5 | | | 標準外 | |
| 卒業研究A | 4前 | ○ | 3 | | | | | ○ | | 13 | 13 | 1 | 5 | | | 標準外 | |
| 卒業研究B | 4後 | ○ | 3 | | | | | ○ | | 13 | 13 | 1 | 5 | | | 標準外 | |
| 小計 (45科目) | — | — | 14 | 64 | 0 | — | — | — | — | 13 | 13 | 1 | 5 | 0 | 18 | | |
| 合計 (104科目) | — | — | 50 | 126 | 0 | — | — | — | — | 13 | 13 | 1 | 5 | 0 | 217 | | |

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 主要授業科目 | 単位数 | | | 授業形態 | | | 基幹教員等の配置 | | | | | 備考 |
|---|---------|---------------|--------|-----------|----|----|--------------|----|-------|----------|-----|----|----|----|----|
| | | | | 必修 | 選択 | 自由 | 講義 | 演習 | 実験・実習 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | |
| 学位又は称号 | | 学士 (情報メディア科学) | | 学位又は学科の分野 | | | 工学関係 | | | | | | | | |
| 卒業・修了要件及び履修方法 | | | | | | | 授業期間等 | | | | | | | | |
| 次の履修方法により合計124単位を修得すること。 1. 基礎科目 (1) 共通科目 必修12単位 選択1-10位 (学士基盤科目1単位のほか学類長が指定する科目から選択) (2) 関連科目 選択6-15単位 (学類長が指定する科目から選択) 2. 専門基礎科目 必修24単位 選択32-47単位 3. 専門科目 必修14単位 選択20-35単位 (履修科目の登録の上限: 45単位 (年間)) | | | | | | | 1 学年の学期区分 | | 2期 | | | | | | |
| | | | | | | | 1 学期の授業期間 | | 15週 | | | | | | |
| | | | | | | | 1 時限の授業の標準時間 | | 75分 | | | | | | |